



オリジナル取扱説明書

取り付け式コンパクトディスクハロー

Catros (カトロス) ^{XL} 3003

Catros (カトロス) ^{XL} 3503

Catros (カトロス) ^{XL} 4003



SmartLearning




AMAZONE

AMAZONEN-WERKE H. DREYER SE & Co. KG
 Am Amazonenwerk 9-13 D-49205 Hasbergen

Machine no.

Vehicle ID no.

Product

Permissible technical implement weight kg

Model Year






Year of construction



機械の識別データをここに記入してください。識別データは銘板に記載されています。



目次

1	本取扱説明書について	1
1.1	著作権	1
1.2	使用している記号	1
1.2.1	警告および信号文字	1
1.2.2	その他の注記	2
1.2.3	操作指示	2
1.2.4	列挙	3
1.2.5	図中の位置番号	4
1.2.6	方向情報	4
1.3	関連文書	4
1.4	デジタル版の取扱説明書	4
1.5	ご意見をお待ちしております	4

2	安全性と責任	5
2.1	基本的な安全上の注意事項	5
2.1.1	取扱説明書の意味	5
2.1.2	安全な運転組織	5
2.1.3	危険の認識と回避	9
2.1.4	安全な作業と機械の安全な取り扱い	11
2.1.5	安全な修理作業と変更	13
2.2	安全ルーチン	16

3	使用目的	18
----------	-------------	-----------

4	製品の説明	19
4.1	機械の概要	19
4.2	特別装備	20
4.3	機械の機能	20
4.4	警告マーク	21
4.4.1	警告マークの位置	21
4.4.2	警告マークの構成	22
4.4.3	警告マークの説明	22
4.5	リアライトと識別	26
4.6	機械の銘板	26
4.7	スレッドパック	26

4.8	リアパッカー用設定レバー	27
4.9	搭載型シードドリル GreenDrill（グリーンドリル）	27

5	技術データ	29
5.1	寸法	29
5.2	整地用ツール	29
5.3	許容接続カテゴリー	30
5.4	走行速度	30
5.5	トラクターの性能特性	30
5.6	騒音発生データ	30
5.7	走行可能な斜面勾配	31

6	機械の準備	32
6.1	必要なトラクター特性を計算	32
6.2	機械の連結	35
6.2.1	リフトアーム用のバックストップ プロファイルを取り付け	35
6.2.2	トラクターを機械に近づける	35
6.2.3	油圧ホースラインの連結	35
6.2.4	電圧供給を連結	37
6.2.5	3 点式取り付け用フレームを連結 する	37
6.2.6	機械を水平に揃える	37
6.3	機械の使用準備	38
6.3.1	ディスクエッジの使用準備	38
6.3.2	作業深度の設定	39
6.3.3	リアパッカーの設定	44
6.3.4	追加バラストの取り付け	50
6.3.5	ローラーのスクレーパーを調整	50
6.3.6	輸送用安全バーを外す	51
6.3.7	GreenDrill（グリーンドリル）の充填	51
6.4	道路走行用に機械を準備	52
6.4.1	道路走行用にディスクエッジを準備	52
6.4.2	輸送用安全バーの取り付け	52

6.4.3	ハローを走行位置にセット	53	12.2	関連文書	70
7	機械を使用	56	13	索引	71
7.1	機械を使用	56	13.1	用語集	71
7.2	カッターローラーを使用	56	13.2	インデックス	72
7.3	枕地で方向転換	56			
8	機械を置く	57			
8.1	3点式取り付け用フレームを連結解除する	57			
8.2	トラクターを機械から取り外す	57			
8.3	電圧供給の連結解除	58			
8.4	油圧ホースラインの連結解除	58			
9	機械の修理	60			
9.1	機械のメンテナンス	60			
9.1.1	メンテナンススケジュール	60			
9.1.2	ディスクの交換	61			
9.1.3	ディスク列を揃える	61			
9.1.4	ディスクキャリアの接続をチェック	62			
9.1.5	ローラーを点検	63			
9.1.6	下側リンクピンおよび上側リンクピンの点検	63			
9.1.7	油圧ホースラインの点検	64			
9.2	機械の清掃	64			
9.3	機械の格納	65			
10	機械の積載	66			
10.1	機械をクレーンで積載	66			
10.2	機械をラッシング	67			
11	機械の廃棄	68			
12	付録	69			
12.1	ねじの締め付けトルク	69			

本取扱説明書について

1

CMS-T-00000081-J.1

1.1 著作権

CMS-T-00012308-A.1

抜粋を含む、いかなる形式のものであれ、転載や翻訳、複製には、AMAZONEN-WERKE の書面による承認が必要です。

1.2 使用している記号

CMS-T-005676-G.1

1.2.1 警告および信号文字

CMS-T-00002415-A.1

警告は、三角形の安全記号と信号文字が付いた、垂直バーで示されています。信号文字の "危険" と "警告"、"注意" は、差し迫った危険の度合いを示し、次の意味があります：



危険

- ▶ 身体の一部を失うような重傷や死亡をもたらす可能性がある、大きな差し迫った危険を示します。



警告

- ▶ 重傷や死亡をもたらす可能性がある、中程度の危険を示します。



注意

- ▶ 軽度から中程度の負傷をもたらす可能性がある、低い危険を示します。

1.2.2 その他の注記

CMS-T-00002416-A.1



重要

- ▶ 機械損傷のリスクを示します。



環境に関する注記

- ▶ 環境汚染のリスクを示します。



注記

使用上のヒントや最適な使用のための注記を示します。

1.2.3 操作指示

CMS-T-00000473-E.1

1.2.3.1 番号が付いた操作指示

CMS-T-005217-B.1

特定の順番で実行する必要がある操作は、番号付きの操作指示として記載されています。所定の操作順を守らなければなりません。

例：

1. 操作指示 1
2. 操作指示 2

1.2.3.2 操作指示と結果

CMS-T-005678-B.1

操作指示の結果は、矢印で示されます。

例：

1. 操作指示 1
- ➡ 操作指示 1 の結果
2. 操作指示 2

1.2.3.3 別の操作指示

CMS-T-00000110-B.1

別の操作指示の前には、「あるい/は」という言葉が付きます。

例：

1. 操作指示 1

または

別の操作指示

2. 操作指示 2

1.2.3.4 操作が 1 つだけである操作指示

CMS-T-005211-C.1

操作が 1 つだけの操作指示には番号ではなく、矢印がついています。

例：

▶ 操作指示

1.2.3.5 順序なしの操作指示

CMS-T-005214-C.1

特定の順番に従う必要のない操作指示は、矢印を付けて箇条書きされています。

例：

▶ 操作指示

▶ 操作指示

▶ 操作指示

1.2.3.6 工場での作業

CMS-T-00013932-B.1



工場での作業

- ▶ 表示された保守作業は、農業技術と安全技術、環境技術の面で十分な設備がある専門工場で、適切な訓練を受けた専門スタッフによって行われなければなりません。

1.2.4 列挙

CMS-T-000024-A.1

順番が重要ではない列挙は、黒丸を付けて箇条書きされています。

例：

- ポイント 1
- ポイント 2

1.2.5 図中の位置番号

CMS-T-000023-B.1

文中に挿入された番号、例えば **1** は、横の図の位置番号を示します。

1.2.6 方向情報

CMS-T-00012309-A.1

特に明記しない限り、方向はすべて進行方向に向かったものです。

1.3 関連文書

CMS-T-00000616-B.1

他の該当する書類のリストが、付録にあります。

1.4 デジタル版の取扱説明書

CMS-T-00002024-B.1

デジタル版の取扱説明書と E ラーニングは、AMAZONE ウェブサイトのインフォポータルでダウンロードできます。

1.5 ご意見をお待ちしております

CMS-T-000059-D.1

読者の皆様、弊社では定期的に説明書をアップデートしております。よりユーザー本位の説明書に改良していくため、皆様からのご意見は大変参考になります。皆様のご意見をお手紙やファックス、電子メールでお寄せください。

AMAZONEN-WERKE H. Dreyer SE & Co. KG
Technische Redaktion
Postfach 51
D-49202 Hasbergen
Fax: +49 (0) 5405 501-234
E-Mail: tr.feedback@amazone.de

CMS-I-00000638

安全性と責任

2

CMS-T-00002298-Q.1

2.1 基本的な安全上の注意事項

CMS-T-00002301-Q.1

2.1.1 取扱説明書の意味

CMS-T-00006180-A.1

取扱説明書の遵守

取扱説明書は重要な文書であり、機械の一部です。これは使用者のためのもので、安全関連の情報が含まれています。安全なのは、取扱説明書に記載されている手順だけです。取扱説明書を遵守しないと、重傷や死亡に至る可能性があります。

- ▶ 機械を初めて使用する前に、安全に関する章を全て読んで、内容を遵守してください。
- ▶ さらに、作業前に取扱説明書の対応する箇所を読んで、内容を遵守してください。
- ▶ 取扱説明書は、保管してください。
- ▶ 取扱説明書は、閲覧できる状態にしておいてください。
- ▶ 取扱説明書は、次のユーザーに引き渡してください。

2.1.2 安全な運転組織

CMS-T-00002302-D.1

2.1.2.1 作業員の資格

CMS-T-00002306-B.1

2.1.2.1.1 機械で作業する作業員の要件

CMS-T-00002310-B.1

機械を不適切に使用すると、作業員が負傷したり死亡する可能性があります：不適切な使用による事故を防ぐため、機械で作業する各作業員は、次の最低要件を満たす必要があります：

- 作業員は身体的および精神的に機械を点検できる状態であること。
- 作業員は本取扱説明書の枠内における機械での作業を確実に実行できること。

2 | 安全性と責任

基本的な安全上の注意事項

- 作業員は、その作業の枠内で機械の機能を理解し、作業の危険を見分け、回避できること。
- 作業員は本取扱説明書の内容を理解しており、本取扱説明書によって伝えられる情報を実行に移せること。
- 作業員は車両の安全な運転に精通していること。
- 道路走行のために、作業員は交通関連規則を知っており、定められた走行許可を保有していること。

2.1.2.1.2 資格レベル

CMS-T-00002311-A.1

機械を用いた作業を行うには、次の資格レベルが必要です：

- 農業経営者
- 農作業補助員

本取扱説明書で説明されている作業は、原則として資格レベル「農作業補助員」の作業員が実行できます。

2.1.2.1.3 農業経営者

CMS-T-00002312-A.1

農業経営者は、圃場耕作用に農業機械を使用します。農業経営者は、特定の目的のために農業機械の使用について決断を下します。

原則として農業経営者は、農業機械を使用する作業に精通しており、必要に応じて農業機械の利用について農作業補助員を指導します。農業経営者は、農業機械の個々の簡単な修理とメンテナンス作業を自ら行うことができます。

例えば以下の人が農業経営者に該当します：

- 大学を卒業しているか、専門学校での訓練を終えている農業経営者
- 経験を積んだ農業経営者（相続した農場や豊富な経験があるなど）
- 農業経営者の依頼を受けて働く請負業者

作業の例：

- 農作業補助員に対する安全指導

2.1.2.1.4 農作業補助員

CMS-T-00002313-A.1

農作業補助員は、農業経営者の依頼により農業機械を使用します。農作業補助員は、農業機械の利用について農業経営者から指導を受け、農業経営者の作業契約に従って自ら働きます。

農作業補助員には、例えば以下の人が含まれます：

- 季節労働者と補助作業員
- 職業訓練中である見習いの農業経営者
- 農業経営者の従業員（トラクターの運転手など）
- 農業経営者の家族

作業の例：

- 機械の運転
- 作業深度の設定

2.1.2.2 操作場所と同乗者

CMS-T-00002307-B.1

同乗者

同乗者は、機械の動作によって落下し、ひかれ、重傷を負ったり死亡したりする恐れがあります。跳ね上がる物体が同乗者に当たり、同乗者が負傷する恐れがあります。

- ▶ 機械の上に誰も同乗させないでください。
- ▶ 移動中の機械に誰も乗ることがないようにしてください。

2.1.2.3 子供に対する危険

CMS-T-00002308-A.1

子供に対する危険

子供は危険を判断できず、予測がつかない行動をとります。これにより子供は特に危険にさらされます。

- ▶ 子供を近づけないでください。
- ▶ アプローチするか、機械動作を作動させる場合、危険エリアに子供がいないことを必ず確認してください。

2.1.2.4 運転安全性

CMS-T-00002309-D.1

2.1.2.4.1 技術的に問題のない状態

CMS-T-00002314-D.1

適切に準備された機械のみを使用

本取扱説明書に基づいて適切に準備されていない場合は、機械の運転安全性は保証されません。これにより事故が発生し、重傷事故や死亡事故が生じる恐れがあります。

- ▶ 本取扱説明書に従って機械の準備をしてください。

機械の破損による危険

機械の破損により、機械の運転安全性が損なわれ、事故が生じる恐れがあります。これにより重傷事故や死亡事故の恐れがあります。

- ▶ **破損が疑われたり、確認された場合：**
トラクターと機械を固定してください。
- ▶ 安全に関連する破損は、直ちに排除してください。
- ▶ 本取扱説明書に従って破損を取り除きます。
- ▶ **自分では本取扱説明書に従って破損を取り除けない場合：**
資格を有する専門工場で、破損を取り除いてもらってください。

技術限界値を遵守

機械の技術限界値を遵守しないと、事故が発生し、人が重傷を負ったり死亡する恐れがあります。さらに機械が破損する恐れがあります。技術限界値は技術データに記載されています。

- ▶ 技術限界値を遵守してください。

2.1.2.4.2 個人用保護具

CMS-T-00002316-B.1

個人用保護具

個人用保護具の着用は、安全のための重要な要素です。個人用保護具が欠落していたり、不適切である場合には、健康を損なう危険や負傷する危険が高まります。例えば個人用保護具には次のものがあります：作業用手袋、作業靴、保護服、呼吸保護具、防音保護具、フェイスガードおよび保護めがね

- ▶ 割り当てられる作業ごとに個人用保護具を定め、保護具を準備してください。
- ▶ 正常な状態であり、有効な保護を提供する個人用保護具だけを使用してください。
- ▶ サイズなど、個人用保護具を該当者に適合させてください。
- ▶ 作業物質、種子、肥料、植物保護剤および洗剤についてのメーカーの注記を遵守してください。

適切な服を着用

ルーズな服を着用していると、回転するパーツに挟まれたり巻き込まれる危険や、突き出る部分に引っかかる危険が高まります。これにより重傷事故や死亡事故の恐れがあります。

- ▶ 体にフィットしない、ルーズな服は着用しないでください。
- ▶ リング、チェーンなどのアクセサリは絶対に着用しないでください。
- ▶ **長髪の人**は、
ヘアネットを着用してください。

2.1.2.4.3 警告マーク

CMS-T-00002317-B.1

警告マークは内容を読み取れる状態に保ちます

機械にある警告マークは、危険個所の危険を警告しており、機械の安全装備の重要な構成要素です。警告マークが欠けている場合、重傷事故や死亡事故のリスクが高まります。

- ▶ 汚れがある警告マークは清掃してください。
- ▶ 破損して、識別できなくなった警告マークはすぐに新しいものに交換してください。
- ▶ 定められた警告マークを交換パーツに取り付けてください。

2.1.3 危険の認識と回避

CMS-T-00002303-F.1

2.1.3.1 機械の危険源

CMS-T-00002318-F.1

圧力がかかった液体

高圧下にある漏れ出た油圧油が皮膚から体内に入り、重傷をもたらすことがあります。ピンの頭サイズの穴でも、重傷事故を起こす恐れがあります。

- ▶ 油圧ホースラインを連結解除したり、損傷がないか点検する前に、油圧システムの圧力を抜きます。
- ▶ 圧力システムが破損していると思われる場合、資格を有する専門工場に依頼して圧力システムを点検してください。
- ▶ 絶対に漏れを素手で探さないでください。
- ▶ 身体と顔を、漏れ発生箇所に近づけないでください。
- ▶ 液体が体内に入り込んだ場合には、ただちに医師の診察を受けてください。

プロペラシャフトで負傷する危険

プロペラシャフトおよび駆動された機械部分に、巻き込まれたり、引き込まれて、重傷を負う可能性があります。プロペラシャフトの負荷が大きすぎると、機械が損傷したり、部品が飛散したり、人が負傷する可能性があります。

- ▶ プロフィールパイプとプロペラシャフト保護、PTO 保護ポットが十分に重なり合った状態を維持してください。
- ▶ プロペラシャフトの回転方向と許容回転数を守ってください。
- ▶ プロペラシャフトの角度が大きすぎる場合は :
プロペラシャフトドライブを OFF にしてください。
- ▶ プロペラシャフトを必要としない場合は :
プロペラシャフトドライブを OFF にしてください。

PTO で負傷する危険

PTO および駆動された機械部分に、巻き込まれたり、引き込まれて、重傷を負う可能性があります。PTO の負荷が大きすぎると、機械が損傷したり、部品が飛散したり、人が負傷する可能性があります。

- ▶ プロフィールパイプとプロペラシャフト保護、PTO 保護ポットが十分に重なり合った状態を維持してください。
- ▶ PTO のロックをカチッと嵌めます。
- ▶ プロペラシャフト保護と一緒に動かないように固定するには :
安全チェーンを掛けてください。
- ▶ 連結された油圧ポンプと一緒に動かないように固定するには :
トルクアームを取り付けてください。
- ▶ PTO の回転方向と許容回転数を守ってください。
- ▶ トルク先端による機械損傷を回避するには :
トラクターのエンジン回転数を低くした状態で、ゆっくりと PTO を連結してください。

動き続ける機械コンポーネントによる危険

ドライブを OFF にした後も機械コンポーネントが動き続け、深刻な負傷や死亡に至る可能性があります。

- ▶ 機械に近づくのは、動き続ける機械コンポーネントが静止するまで待ってください。
- ▶ 静止した機械コンポーネントにのみ触れてください。

2.1.3.2 危険エリア

CMS-T-00002319-C.1

機械の危険エリア

危険エリアには、次の主な危険があります：

機械とその作業ツールは、作業に応じて動きます。

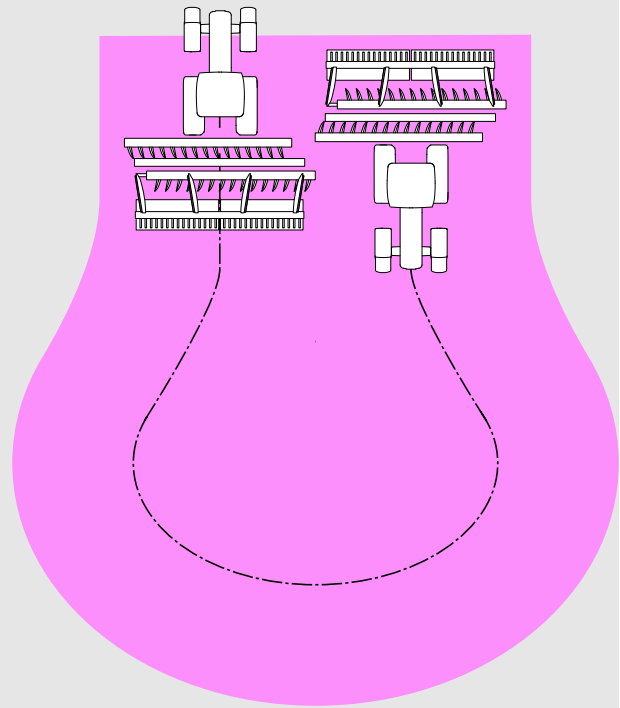
油圧で上昇させた機械パーツは、不意にゆっくり下降する恐れがあります。

トラクターと機械が、意図せずに動き出す可能性があります。

材料や異物が、機械から飛び出たり投げ出される可能性があります。

危険エリアに注意を払わない場合、重傷事故や死亡事故の恐れがあります。

- ▶ 現場にいる人に、機械の危険エリアから離れるように指示してください。
- ▶ 危険エリアに立ち入る人がいる場合には、エンジンとドライブをすぐにオフにしてください。
- ▶ 機械の危険エリアで作業する前に、トラクターと機械を固定してください。これは、一時的な点検作業をする場合にも当てはまります。



CMS-I-001131

2.1.4 安全な作業と機械の安全な取り扱い

CMS-T-00002304-J.1

2.1.4.1 機械の連結

CMS-T-00002320-D.1

機械をトラクターに連結

機械をトラクターに正しく連結しないと、重大事故が生じる危険があります。

トラクターと機械の間の連結点には、挫傷や切断の危険があります。

- ▶ 機械をトラクターに連結したり、トラクターから連結解除する場合は、十分に注意してください。
- ▶ 機械の連結と輸送には、必ず適切なトラクターを使用してください。
- ▶ 機械をトラクターに連結する場合、トラクターの接続装置が機械の要件を満たしていることを確認してください。
- ▶ 機械は規則に従ってトラクターに連結します。

2.1.4.2 走行安全性

道路や圃場での走行時の危険

トラクターに取り付けられた機械やトラクターで牽引されている機械、フロントバラスト、リアバラストは、トラクターの走行挙動と操舵力および制動力に影響を及ぼします。走行特性は、運転状態、充填または積載状態、および地面によっても異なります。ドライバーが走行特性の変化を考慮しない場合、事故が生じる場合があります。

- ▶ トラクターの操舵力と制動力が常に十分に発揮されるようにしてください。
- ▶ **トラクターは、トラクターと取り付けた機械の指定されている制動減速度を守れなければなりません。**
走行開始前に、ブレーキが正しく作動するか確認してください。
- ▶ **十分な操舵力を確保するためには、常にトラクターの自重の 20 % 以上が、トラクター前輪軸にかかっていなければなりません。**
必要に応じてフロントバラストを使用してください。
- ▶ フロントバラストとリアバラストは、必ず所定の固定箇所に、規則通りに固定してください。
- ▶ 取り付けられたり牽引された機械の許容積載荷重を計算して、これを遵守してください。
- ▶ トラクターの許容軸荷重および許容支持荷重を遵守してください。
- ▶ 牽引装置と牽引バーの許容支持荷重を遵守してください。
- ▶ 機械の許容輸送幅を遵守してください。
- ▶ 機械を取り付けたり牽引しているトラクターは、常に完全に制御できる状態で運転してください。そのためには、あなた個人の能力、路面・交通・視界・天候の諸条件、さらにはトラクターの走行特性および取り付けた機械の影響を考慮に入れてください。

道路走行中に機械が横方向に無制御に動くことによる、事故の危険

- ▶ 道路を走行する際には、トラクターの下側リンクをロックしてください。

道路走行用に機械を準備

道路走行用に機械を正しく準備しない場合、道路交通で重大な事故が生じる恐れがあります。

- ▶ 道路走行用の照明と識別が機能するか点検してください。
- ▶ 機械から目立つ汚れを取り除いてください。
- ▶ 「道路走行用に機械を準備」の章の指示に従ってください。

機械を置く

置かれた機械は倒れる恐れがあります。挫傷事故や死亡事故の恐れがあります。

- ▶ 機械は、必ず十分な支持力を持つ平坦な場所に置いてください。
- ▶ 設定作業や修理作業を行う前に、機械が安定していることを確認してください。疑わしい場合は、機械を支えてください。
- ▶ "機械を置く"の章の指示に従ってください。

監視されずに置かれた状態

不十分に固定され、監視されない状態で置かれているトラクターと、連結された機械は、現場の人や遊んでいる子供にとって危険です。

- ▶ 機械から離れる前に、トラクターと機械を停止してください。
- ▶ トラクターと機械を固定してください。

道路走行中は、操作コンピュータや操作端末を使用しないでください

運転者が注意をそらすと、事故や怪我、さらには死に至る場合があります。

- ▶ 道路走行中は、操作コンピュータや操作端末を使用しないでください。

2.1.5 安全な修理作業と変更

CMS-T-00002305-J.1

2.1.5.1 機械に対する変更

CMS-T-00002322-B.1

設計変更は権限を有する場合のみ可能

設計変更や拡張により、機械の機能や運転安全性が損なわれる恐れがあります。これにより重傷事故や死亡事故の恐れがあります。

- ▶ 設計変更や拡張は、必ず資格を有する専門工場で実施してください。
- ▶ 国内および国際規制に準拠して型式承認が有効であり続けるようにするために、専門工場が AMAZON 承認の改装パーツと交換パーツ、特別装備のみを使用していることを確認してください。

2.1.5.2 機械での作業

CMS-T-00002323-I.1

機械での作業開始前に機械を必ず停止

機械が停止していない場合、パーツが不意に動くか、機械が動く恐れがあります。これにより重傷事故や死亡事故の恐れがあります。

- ▶ 持ち上げられている物に対して、またはその下で作業を行わなければならない場合、物を下げるか、油圧式または機械式のロック装置で物を固定してください。
- ▶ ドライブをすべてオフにしてください。
- ▶ パーキングブレーキをかけてください。
- ▶ とりわけ斜面では、機械が動き出さないように、さらに輪止めで固定します。
- ▶ イグニッションキーを抜き取って、携帯してください。
- ▶ 後置されたパーツが停止し、高温のパーツが冷めるまで待ちます。

修理作業

とりわけ安全に関連するコンポーネントでの、不適切な修理作業は、運転安全性を損ないます。これにより事故が発生し、重傷事故や死亡事故が生じる恐れがあります。安全に関連するコンポーネントには、油圧コンポーネントや電気コンポーネント、フレーム、バネ、牽引連結器、車軸およびアクスルサスペンション、可燃物質のタンクおよびラインなどが含まれます。

- ▶ 機械を設定、修理、あるいは清掃する前に、機械を固定してください。
- ▶ 本取扱説明書に従って、機械を保守してください。
- ▶ 本取扱説明書で説明されている作業だけを実行してください。
- ▶ "工場での作業"と表示された保守作業は、農業技術と安全技術、環境技術の面で十分な設備がある専門工場で、適切な訓練を受けた専門スタッフに依頼してください。
- ▶ フレームやシャシー、機械の接続装置に対して、溶接や穿孔、鋸による切断、研削、分離は絶対に行わないでください。
- ▶ 安全に関連するコンポーネントは、決して加工しないでください。
- ▶ 既存の穴の上に穿孔しないでください。
- ▶ 定められたメンテナンス間隔ですべてのメンテナンス作業を実行してください。

持ち上げられた機械パーツ

持ち上げられた機械パーツは、意図せずに下降して、人が押し潰されたり死亡する恐れがあります。

- ▶ 持ち上げられた機械パーツの下に、決して留まらないでください。
- ▶ 上昇させた機械パーツに対して、あるいはその下で作業を実行しなければならない場合、機械パーツを下げるか、上昇させた機械パーツを機械的な支持装置または油圧式のロック装置で固定してください。

溶接作業による危険

とりわけ安全に関連するコンポーネントやその近くでの、不適切な溶接作業により、機械の運転安全性が損なわれる恐れがあります。これにより事故が発生し、重傷事故や死亡事故が生じる恐れがあります。安全に関連するコンポーネントには、油圧コンポーネントおよび電気コンポーネント、フレーム、バネ、3 点式取付用フレームや牽引バー、ヒッチブロック、牽引連結器、ドローレールといったトラクターへの接続装置、そして車軸およびアクスルサスペンション、可燃物質のタンクおよびラインなどが含まれます。

- ▶ 安全に関連するコンポーネントの溶接作業は、適切な許可を与えられた作業員がいる、資格を有する専門工場にのみ依頼してください。
- ▶ すべての他のコンポーネントについては、必ず資格を有する作業員に溶接を実施させてください。
- ▶ あるコンポーネントで溶接できるか疑わしい場合：
資格を有する専門工場で確認させてください。
- ▶ 機械で溶接を行う前に：
機械をトラクターから連結解除してください。
- ▶ 以前に液体肥料を散布するために使用された噴霧器の近くでは溶接作業を行わないでください。

2.1.5.3 作業物質

CMS-T-00002324-C.1

不適切な作業物質

AMAZONE の要件に適合しない作業物質（材料や燃料など）により、機械損傷や事故が生じる恐れがあります。

- ▶ 技術データの要件に適合する作業物質を必ず使用してください。

2.1.5.4 特別装備と交換パーツ

CMS-T-00002325-B.1

特別装備と付属品、交換パーツ

AMAZONE の要件に適合しない特別装備や付属品、交換パーツにより、機械の運転安全性が損なわれ、事故が発生する恐れがあります。

- ▶ 純正パーツまたは AMAZONE の要件に適合するパーツだけを使用してください。
- ▶ 特別装備や付属品、交換パーツに関して質問があれば、販売店か AMAZONE にお問い合わせください。

2.2 安全ルーチン

CMS-T-00002300-D.1

トラクターと機械を固定

トラクターと機械が不意に作動して走り出すことがないように固定されていない場合、トラクターと機械が制御されずに動き出し、人をひき、押しつぶし、衝突して死亡させる恐れがあります。

- ▶ 上昇した機械または上昇した機械パーツを降下させます。
- ▶ 操作装置を操作して、油圧ホースラインの圧力を抜きます。
- ▶ 上昇させた機械の下、またはコンポーネントの下に立ち入る必要がある場合、上昇させた機械とコンポーネントが降下しないように、機械的な安全支持装置または油圧式の遮断装置で固定してください。
- ▶ トラクターを停めます。
- ▶ トラクターのパーキングブレーキを引きます。
- ▶ イグニッションキーを抜き取ります。

機械を固定

連結解除後、機械は固定しなければなりません。機械と機械パーツを固定しない場合、挫傷事故や切断事故の危険があります。

- ▶ 機械は、必ず十分な支持力を持つ平坦な場所に置いてください。
- ▶ 油圧ホースラインを無圧にして、トラクターから切り離す前に、機械を作業位置にします。
- ▶ エッジが鋭い機械パーツや突き出ている機械パーツに直接人が触れることがないように保護してください。

保護装置は正しく機能する状態に保ってください

保護装置が欠落していたり、破損していたり、誤って取り付けられていたり、取り外されていると、機械パーツによって人が重傷を負ったり死亡する恐れがあります。

- ▶ 少なくとも毎日 1 回は、機械に損傷がないか、適切に取り付けられているか、保護装置が機能するか点検してください。
- ▶ *保護装置が正しく取り付けられ、機能しているか疑わしい場合は、資格を有する専門工場に依頼して保護装置を点検させてください。*
- ▶ 機械で作業をする前には、保護装置が適切に取り付けられ、正しく機能することを必ず確認してください。
- ▶ 破損した保護装置は新品に交換します。

乗車と降車

乗車と降車時の不注意な挙動により、はしごから人が落下する恐れがあります。定められたはしご以外で機械に乗る人は、滑り落ち、落下し、重傷を負う恐れがあります。汚れや作業物質により、足元の安全性や安定性が損なわれる恐れがあります。操作エレメントを間違えて操作すると、機能が意図せず作動し、危険が生じる恐れがあります。

- ▶ 所定のはしごだけを使用してください。
- ▶ *安全な足場と安定性を確保するため：*
踏み板と床面は常に清潔かつ正常な状態に保ってください。
- ▶ *機械が動いている場合には：*
絶対に機械に乗り降りしないでください。
- ▶ 機械の方向を向いて昇降してください。
- ▶ 昇降時には少なくとも 3 点式の接触法で段と手すりを使用してください。つまり、両手と片足、または両足と片手が同時に機械に接していなければなりません。
- ▶ 昇降時には、操作エレメントを絶対に掴まないでください。
- ▶ 降車時には機械から絶対に飛び降りないでください。

使用目的

3

CMS-T-000026-D.1

- 本機械は、農地として用いられている土地の整地作業のために、農作業の規則に従って専門的に使用することのみを目的に製造されています。
- 本機械は、技術要件を満たすトラクターの 3 点式パワーリフトに取り付けるための農作業用機械です。
- この機械は、フラットな切り株処理や休閑、苗床準備、間作や農場肥料の鋤込みに適しており、そう意図されています。
- この機械は、土壌強度 3.0 MPa までの圃場で使用できます。
- 公道を走行する場合、機械は有効な道路交通規則の定めに応じて、技術要件を満たすトラクターの後部に取り付け、運ぶことができます。
- 要件を満たす作業員だけが、機械を使用および修理できます。作業員についての要件は、"作業員の資格"の章に記載されています。
- 本取扱説明書は機械の構成要素です。この機械は、本取扱説明書に準拠した使用のみを目的に設計されています。本取扱説明書で説明されていない機械の用途により、重傷事故や死亡事故、および機械の破損や物損事故が生じる恐れがあります。
- ユーザーおよび所有者は、該当する事故防止規定ならびに一般的に知られている安全技術上、労働衛生上、さらに道路交通に関する法律を遵守しなければなりません。
- 特殊な事情における適切な使用についての詳細は、AMAZONE にお尋ねください。
- 使用目的としてあげられたものとは異なる他の使用は、不適切な使用と見なされます。不適切な使用によって生じた損傷については、メーカーの責任はなく、管理責任者だけの責任になります。

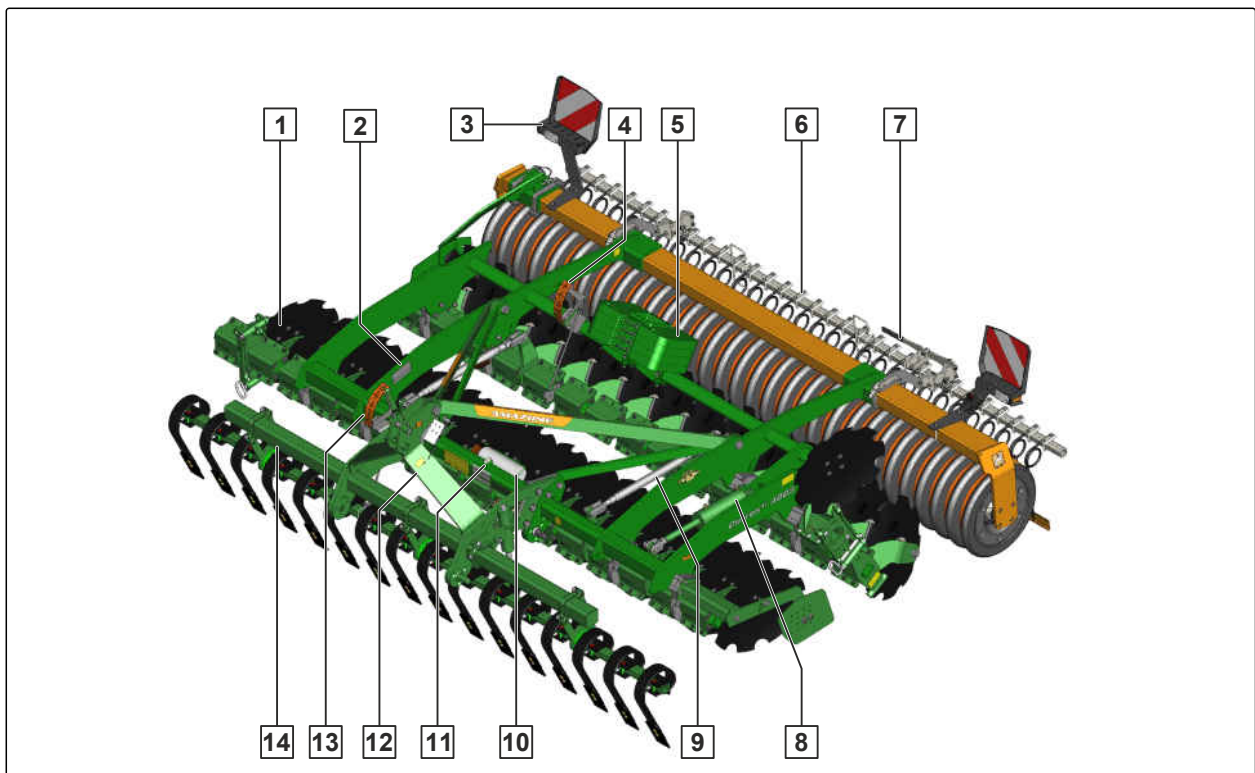
製品の説明

4

CMS-T-00001006-Q.1

4.1 機械の概要

CMS-T-00001007-G.1



CMS-I-00000754

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| 1 折り畳み式ディスクエッジ | 2 機械の銘板 |
| 3 道路走行用の照明と識別 | 4 ディスクの作業深度調節用の目盛り |
| 5 追加バラスト | 6 リアパッカー |
| 7 設定レバー | 8 ディスクの作業深度調節 |
| 9 ディスク列の調整スピンドル | 10 スレッドパック |
| 11 水準器 | 12 フロント取り付けフレーム |
| 13 先行ツールの作業深度調節用の目盛り | 14 先行ツール |

4.2 特別装備

CMS-T-00004520-D.1

特別装備は、お客様の機械に取り付けられていない場合があります、あるいは特定の国・地域でしか入手できません。お客様の機械の装備については、納品書を確認するか、販売店に詳細をお問い合わせください。

次の装備は特別装備です：

- クラッシュボード
- スプリングナイフシステム
- GreenDrill（グリーンドリル）200-E
- 識別 GOST-R
- カッターローラー
- リアパッカー
- クリアリングシステム
- サイドガイドプレート
- ストローハロー
- フロント取り付けフレーム
- 追加バラスト

4.3 機械の機能

CMS-T-00002712-D.1

先行ツールは、地面を準備をします。

ディスク列は、土壌を鋤き起こして混ぜます。

ローラーは、土壌を固めます。

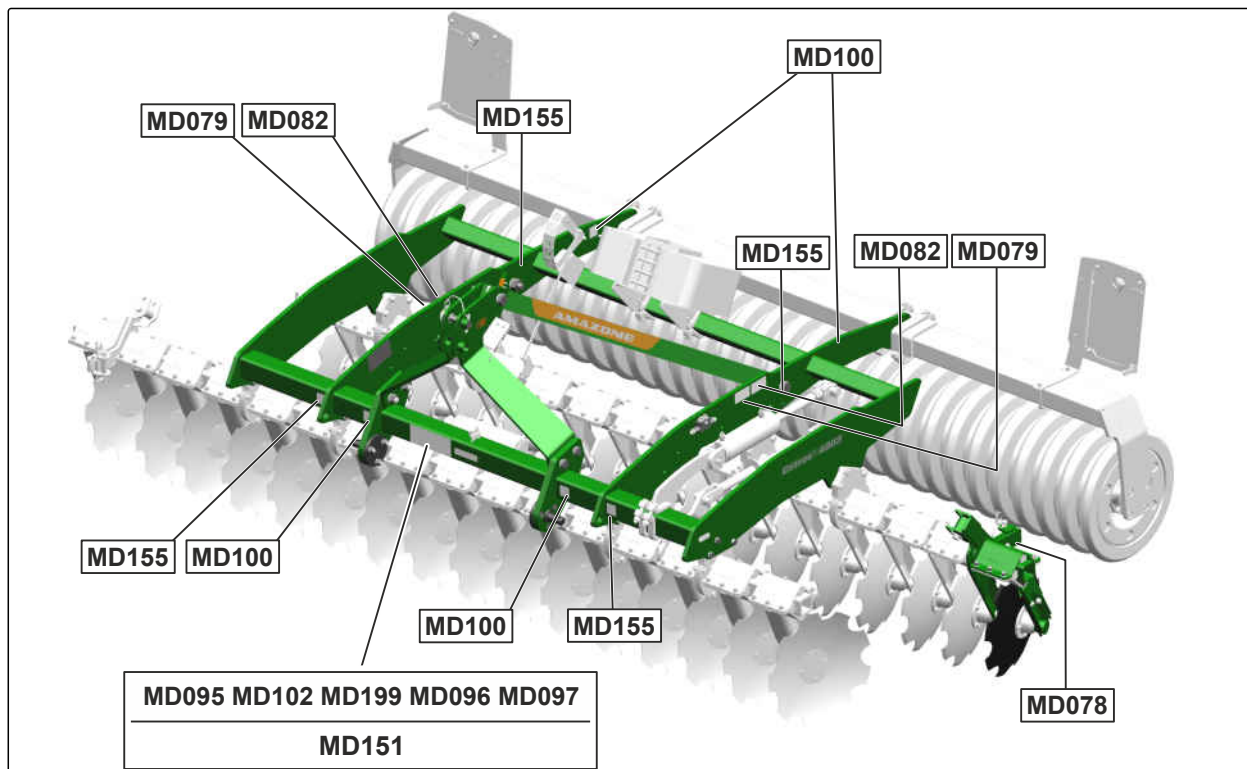
リアパッカーは、土壌を砕いて、切断された植物の残骸を土壌表面に置きます。

4.4 警告マーク

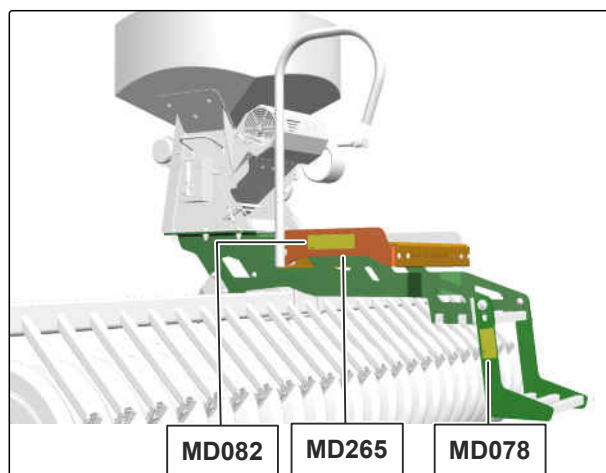
CMS-T-00000139-H.1

4.4.1 警告マークの位置

CMS-T-004837-F.1



CMS-I-00000415



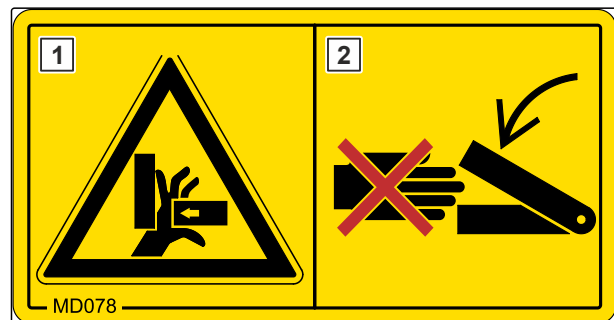
CMS-I-00008710

4.4.2 警告マークの構成

警告マークは、機械の危険箇所を示し、残留リスクについて警告するものです。これらの場所では、たえまない危険や予期せぬ危険があります。

警告マークは、次の 2 つの欄で構成されます：

- 欄 **1** は以下を示します：
 - 三角形の安全マークで囲まれた、危険エリアを表す絵
 - 注文番号
- 欄 **2** は危険回避のための指示を示す絵です。

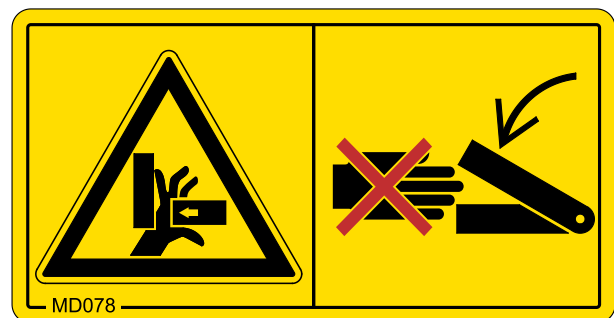


4.4.3 警告マークの説明

MD078

指や手が押しつぶされる危険

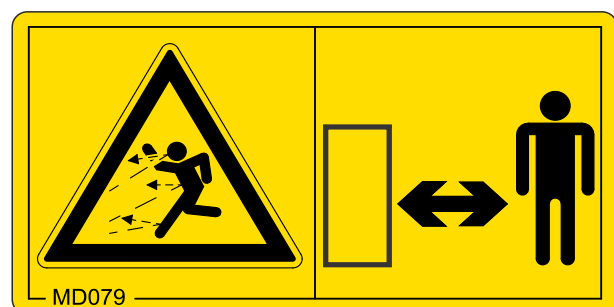
- ▶ 危険エリアに近づく前に、機械のエネルギー供給を遮断してください。
- ▶ すべての可動部品が静止するまで待つてから、危険箇所への介入をおこなってください。
- ▶ 危険エリア内や可動部品の近くに、人がいないことを確認してください。



MD079

飛散する材料による危険

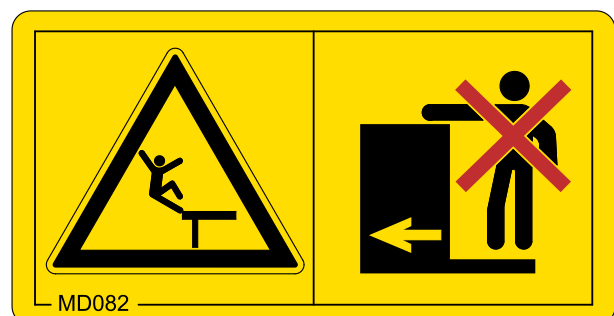
- ▶ 危険エリア内や可動部品の近くに、人がいないことを確認してください。



MD082

踏み板や台から落下する危険

- ▶ 機械の上に誰も同乗させないでください。
- ▶ 移動中の機械に誰も乗ることがないようにしてください。



MD095

取扱説明書内の注記を守らないことにより事故が生じる恐れ

- ▶ 機械で作業する前に、本取扱説明書を読み、内容を理解してください。



CMS-I-000138

MD096

高圧で流れ出る油圧オイルによる、感染の危険

- ▶ 油圧ホースラインの漏れ箇所は、絶対に手や指で探さないでください。
- ▶ 油圧ホースラインの漏れは、絶対に手や指で塞ごうとしないでください。
- ▶ 油圧オイルによって負傷した場合、ただちに医師の診察を受けてください。

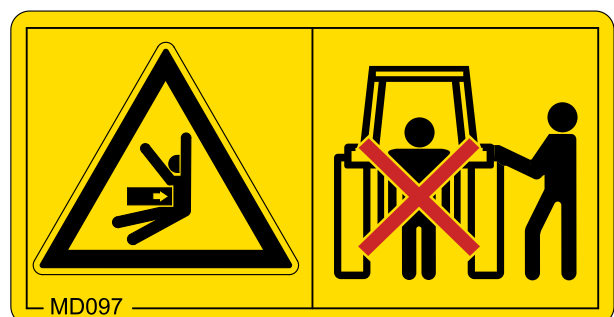


CMS-I-000216

MD097

トラクターと機械の間で押しつぶされる危険

- ▶ トラクター油圧系を操作する前に、トラクターと機械の間のエリアから離れるように周囲の人々に指示してください。
- ▶ トラクター油圧系は、所定の作業場所からのみ操作してください。

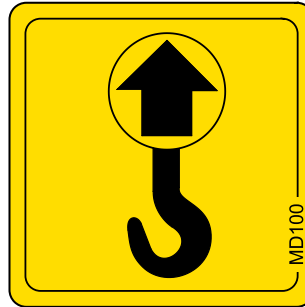


CMS-I-000139

MD100

不適切に取り付けた固定具による事故の危険

- ▶ 固定具は必ずマークが付いている位置に取り付けてください。



CMS-I-000089

MD102

意図しない機械の始動および意図しない、コントロールを失った状態での機械動作による危険

- ▶ 機械で作業をおこなう際には、意図しない機械の始動や意図しない、コントロールを失った状態での機械動作を回避するための安全措置を機械で必ず講じてください。

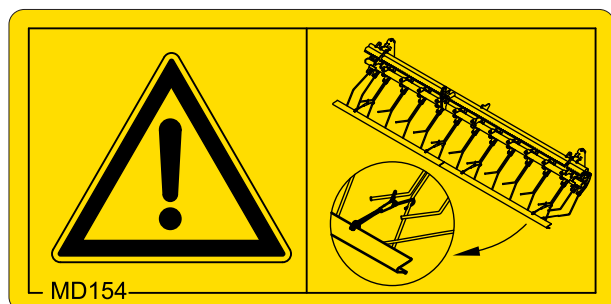


CMS-I-00002253

MD154

保護されていないシードハロータインによる、最悪の場合死に至る負傷の危険

- ▶ 公共交通路を走行する前に、取扱説明書に記載されているように、輸送用安全バーを取り付けてください。

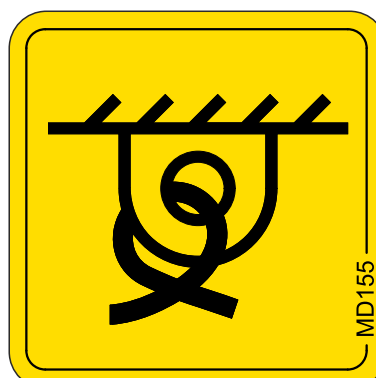


CMS-I-00003657

MD155

不適切に固定された機械を輸送する際の、事故および機械損傷の危険

- ▶ 機械輸送用のラッシングストラップは、必ずマークされたラッシングポイントに取り付けてください。

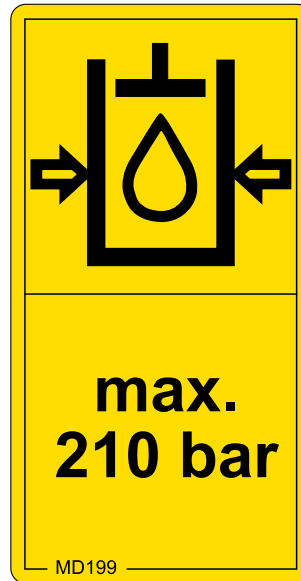


CMS-I-00000450

MD199

油圧システムの圧力が高すぎることによる、事故の危険

- ▶ 機械は、トラクター油圧が 210 bar 以下のトラクターに限って連結してください。

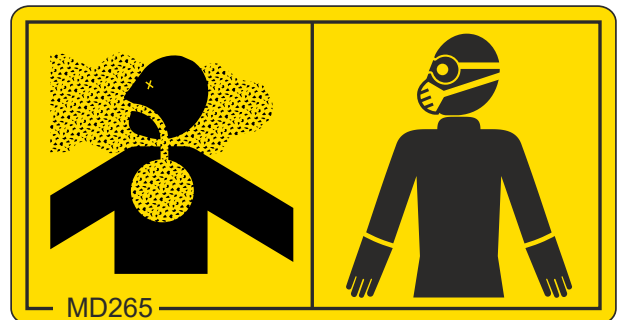


CMS-I-00000486

MD265

種子殺菌剤の粉塵による化学火傷の危険

- ▶ 有害物質を吸い込まないでください。
- ▶ 目や皮膚に触れないようにしてください。
- ▶ 有害物質を用いて作業する前に、メーカーが推奨する防護服を着用してください。
- ▶ 有害物質の取り扱いについては、メーカーによる安全上の注意事項を守ってください。



CMS-I-00003659

MD278

加圧された油圧アクチュレータの不適切な取り扱いによる、深刻な負傷

- ▶ 加圧された油圧アクチュレータは、必ず資格を有する専門工場で点検および修理してください。

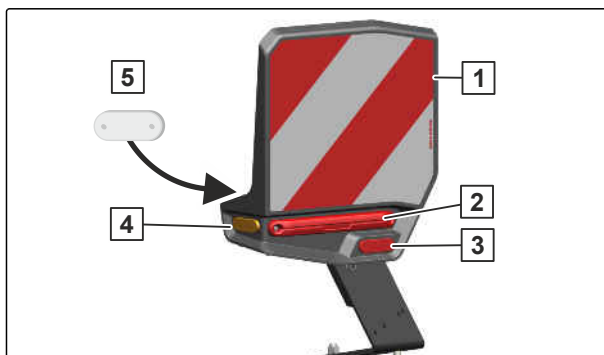


CMS-I-00007679

4.5 リアライトと識別

CMS-T-00009641-A.1

- 1 警告板
- 2 テールライト、ブレーキライトおよびターンインジケータ
- 3 赤色リフレクター
- 4 黄色リフレクター
- 5 白色リフレクター



CMS-I-00006654

注記

道路走行用の照明と識別は、国の規制によって異なる場合があります。

4.6 機械の銘板

CMS-T-00004505-J.1

- 1 機械番号
- 2 車両識別番号
- 3 製品
- 4 許容テクニカル機械重量
- 5 モデルイヤー
- 6 製造年



CMS-I-00004294

4.7 スレッドパック

CMS-T-00001776-E.1

スレッドパック内には次のものがあります：

- ドキュメント
- ツール



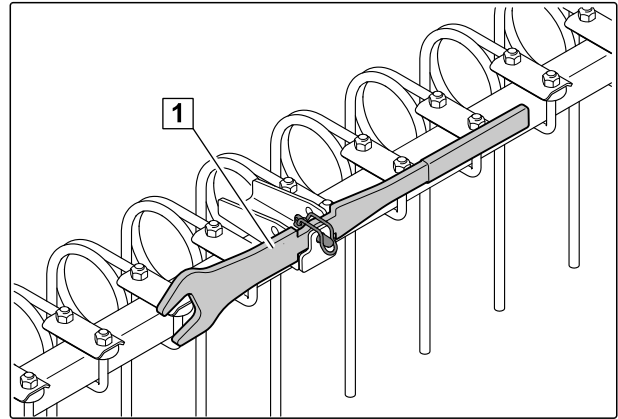
CMS-I-00002306

4.8 リアパッカー用設定レバー

CMS-T-00012588-A.1

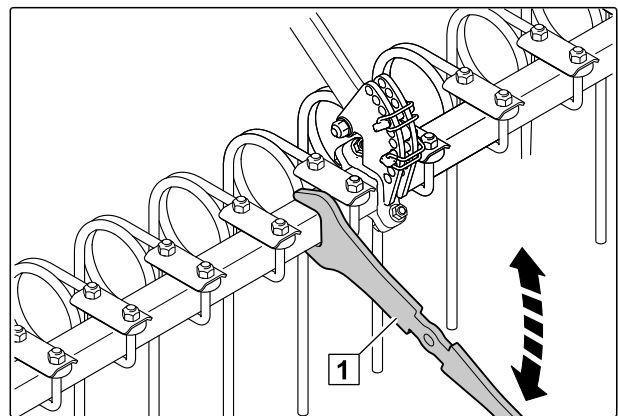
ハローシステムとツインハロー、スプリングナイフシステム、スプリングクリアリングシステムの傾きは、設定レバーで容易に設定できます。

1 パーキング位置の設定レバー



CMS-I-00002241

1 設定位置の設定レバー



CMS-I-00007912

4.9 搭載型シードドリル GreenDrill（グリーンドリル）

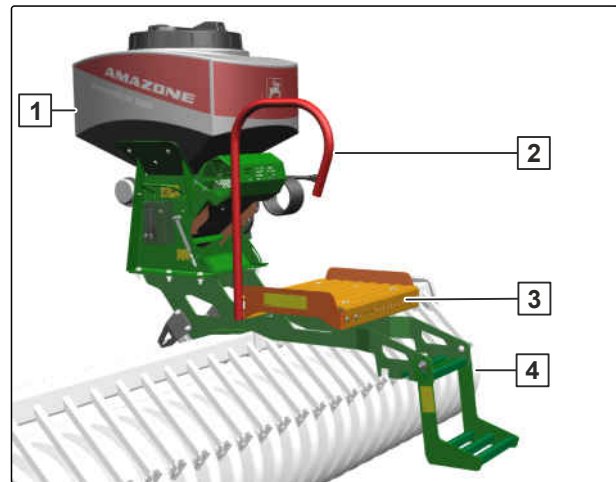
CMS-T-000196-E.1

トップマウント式シードドリル GreenDrill（グリーンドリル）は、粒の細かい種子や間作物の播種を可能にします。

4 | 製品の説明

搭載型シードドリル GreenDrill (グリーンドリル)

- 1 タンク
- 2 プラットフォーム
- 3 手すり
- 4 折りたたみはしご



CMS-I-00010250

技術データ

5

CMS-T-00002332-L.1

5.1 寸法

CMS-T-00002333-B.1

Catros (カトロス) ^{XL}	3003	3503	4003
輸送幅	3 m	3.5 m	4 m
搬送高さ	1.5 m	1.5 m	1.5 m
全長	3.34 m	3.34 m	3.34 m
作業幅	3 m	3.5 m	4 m
重心の距離	1.237 m		

5.2 整地用ツール

CMS-T-00002334-E.1

Catros (カトロス) ^{XL}	3003	3503	4003
ディスク数	24	28	32
ディスクの厚さ	6 cm		
ディスク直径	61 cm		
ディスク間隔	25 cm		
作業深度	5～16 cm		

X カッターディスク			
Catros (カトロス) ^{XL}	3003	3503	4003
ディスク数	22	26	30
	追加の鋸歯状外側ディスク 2 枚		
ディスクの厚さ	5 cm		
ディスク直径	48 cm		
ディスク間隔	25 cm		
作業深度	2～8 cm		

5.3 許容接続カテゴリー

CMS-T-00002335-D.1

3 点式取り付け用フレーム	カテゴリー 3 とカテゴリー 3N
---------------	-------------------

5.4 走行速度

CMS-T-00002294-E.1

理想的な作業速度	12-18 km/h
----------	------------

許容輸送速度	60 km/h
--------	---------

5.5 トラクターの性能特性

CMS-T-00002336-A.1

Catros (カトロス) ^{XL}	3003	3503	4003
エンジン出力	88 kW / 120 HP 以上	103 kW / 140 HP 以上	118 kW / 160 HP 以上

電気系統	
バッテリー電圧	12 V
照明用電気ソケット	7 極

油圧系統	
最大作業圧力	210 bar
トラクターポンプ出力	150 bar で 15 l/min 以上
機械の油圧オイル	HLP68 DIN51524 この油圧オイルは、市場に流通しているあらゆるトラクターのコンビ型油圧オイル回路に適しています。
制御装置	機械の装備に応じて異なる

5.6 騒音発生データ

CMS-T-00002296-D.1

作業場における放出音圧レベルは 70 dB(A) 未満です。この値は、運転時にキャabinを閉じた状態で、トラクター運転手の耳元で測定しました。

発生する音圧レベルの高さは、基本的に使用する車両によって異なります。

5.7 走行可能な斜面勾配

CMS-T-00002297-E.1

傾斜を横断		
進行方向で左側	15 %	
進行方向で右側	15 %	

傾斜を上昇/傾斜を下降		
傾斜を上昇	15 %	
傾斜を下降	15 %	

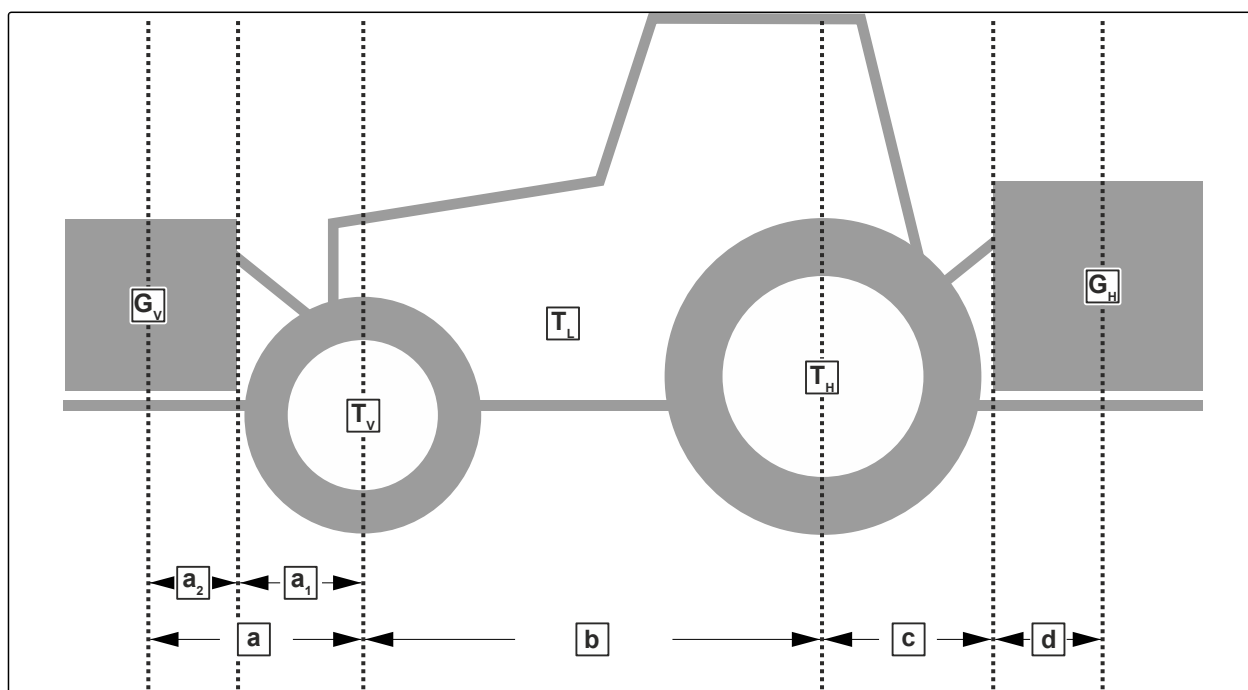
機械の準備

6

CMS-T-00000997-O.1

6.1 必要なトラクター特性を計算

CMS-T-0000063-F.1



CMS-I-00000581

名称	単位	説明	検出された値
T_L	kg	トラクターの自重	
T_V	kg	搭載型機械またはバラストなしの、運転準備が整ったトラクターの前輪軸荷重	
T_H	kg	搭載型機械またはバラストなしの、運転準備が整ったトラクターの後輪軸荷重	
G_V	kg	フロント側に取り付けた機械またはフロントバラストの総重量	
G_H	kg	リア側に取り付けた機械またはリアバラストの許容総重量	
a	m	フロント側に取り付けた機械またはフロントバラストの重心と、前輪軸の中心の間の距離	
a_1	m	前輪軸中央とリフトアーム接続部中央の間の距離	

名称	単位	説明	検出された値
a_2	m	重心の距離：フロント側に取り付けた機械またはフロントバラストの重心と、リフトアーム接続部中心の間の距離	
b	m	軸距	
c	m	後輪軸中央とリフトアーム接続部中央の間の距離	
d	m	重心の距離：下側リンク連結点の中心と、トラクターの後部に取り付けた機械またはリアバラストの重心の間の距離。	

1. 最小フロントバラストを計算します。

$$G_{Vmin} = \frac{G_H \cdot (c + d) - T_V \cdot b + 0,2 \cdot T_L \cdot b}{a + b}$$

$$G_{Vmin} = \underline{\hspace{2cm}}$$

$$G_{Vmin} = \underline{\hspace{2cm}}$$

CMS-I-00000513

2. 実際の前輪軸荷重を計算します。

$$T_{Vtat} = \frac{G_V \cdot (a + b) + T_V \cdot b - G_H \cdot (c + d)}{b}$$

$$T_{Vtat} = \underline{\hspace{2cm}}$$

$$T_{Vtat} = \underline{\hspace{2cm}}$$

CMS-I-00000516

3. トラクターと機械の組み合わせの実際の合計重量を計算します。

$$G_{tat} = G_V + T_L + G_H$$

$$G_{tat} = \underline{\hspace{2cm}}$$

$$G_{tat} = \underline{\hspace{2cm}}$$

CMS-I-00000515

6 | 機械の準備
必要なトラクター特性を計算

4. 実際の後輪軸荷重を計算します。

$$T_{Htat} = G_{tat} - T_{Vtat}$$

$$T_{Htat} =$$

$$T_{Htat} =$$

CMS-I-00000514

5. メーカー指定の 2 本のトラクタータイヤのタイヤ負荷能力を検出します。

6. 検出した値を以下の表にメモします。



重要

過剰な負荷のための機械損傷による事故の危険

- ▶ 算出した負荷が、許容負荷以下であることを確認してください。

	計算に基づく実際の値			トラクターの取扱説明書に基づく許容値		2 本のトラクタータイヤ用のタイヤ負荷能力		
最小フロントバラスト		kg	≤		kg		-	-
総重量		kg	≤		kg		-	-
前輪軸荷重		kg	≤		kg	≤		kg
後輪軸荷重		kg	≤		kg	≤		kg

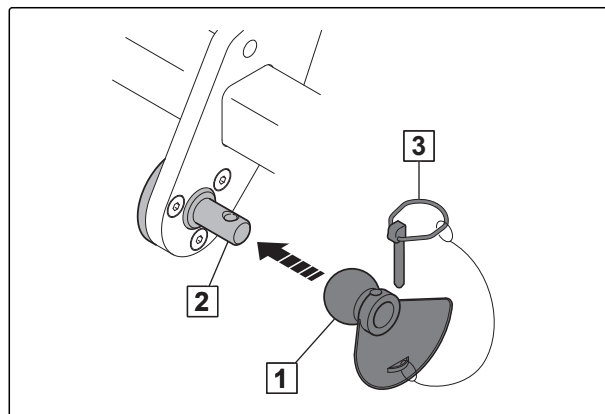
6.2 機械の連結

CMS-T-00001392-N.1

6.2.1 リフトアーム用のバックストッププロファイルを取り付け

CMS-T-00001398-A.1

1. バックストッププロファイル **1** を下側リンクピン **2** にはめます。
2. バックストッププロファイルをリンチピン **3** で固定します。



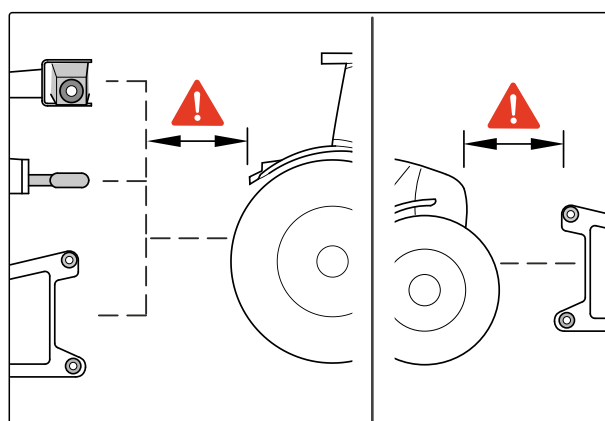
CMS-I-00001219

6.2.2 トラクターを機械に近づける

CMS-T-00005794-D.1

供給ラインを問題なく接続できるように、トラクターと機械の間に十分なスペースを確保する必要があります。

- ▶ 十分な距離を確保できる位置まで、トラクターを機械に近づけます。



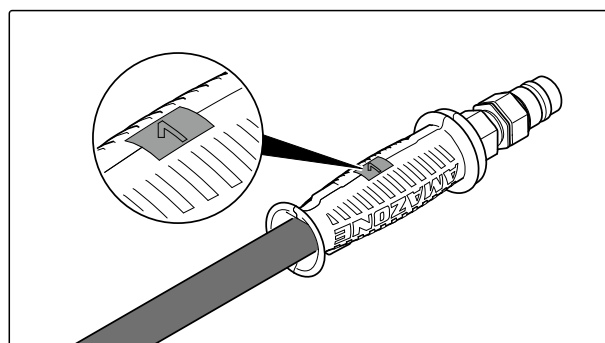
CMS-I-00004045

6.2.3 油圧ホースラインの連結

CMS-T-00006076-D.1

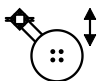
すべての油圧ホースにはグリップが備わっています。グリップには、識別番号または識別文字が記載された、色付きのマークがあります。このマークには、トラクター制御装置の圧力ラインの油圧機能が、それぞれ割り当てられています。このマークに関連して、該当する油圧機能を示すフォイルが機械に貼り付けられています。

油圧機能に応じて、トラクター制御装置は様々な操作モードで使います：



CMS-I-00000121

操作モード	油圧機能	記号
ラッチ式	恒常的な油圧油循環	
ばね復帰式	アクションが実行されるまでの油圧油フロー	
フロート式	トラクター制御装置内の自由な油圧油フロー	

マーク		機能			トラクター制御装置	
緑色	1		中空ディスクの作業深度	拡大 縮小	複動式	
	2					
ベージュ色	1		クラッシュボードの作業深度	拡大 縮小	複動式	
	2					
ベージュ色	1		カッターローラー	使用 持ち上げる	複動式	
	2					



警告

最悪の場合死に至る、負傷の危険

油圧ホースラインを正しく接続しないと、油圧機能にエラーが生じる可能性があります。

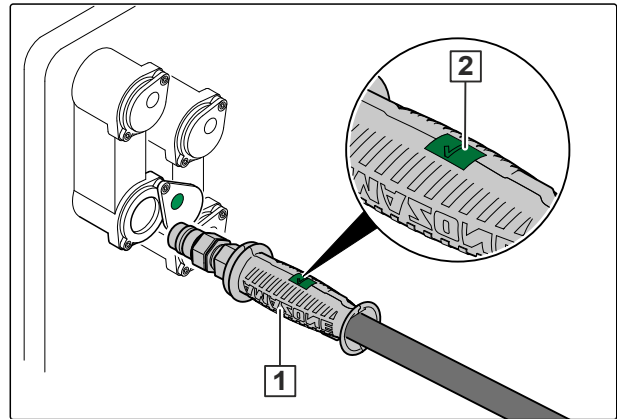
- ▶ 油圧ホースラインを連結する際には、油圧プラグの色付きマークに注意してください。

1. トラクターと機械の間の油圧系統を、トラクター制御装置で無圧にします。
2. 油圧プラグを清掃します。

3. 油圧ホースライン **1** を、マーク **2** に従って、トラクターの油圧ソケットと連結します。

➡ 油圧プラグがカチッという音とともにロックされます。

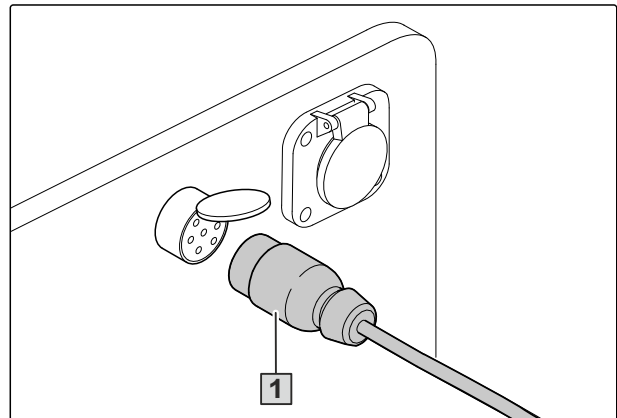
4. 動きの自由度が十分にあって、擦れる箇所が生じないように、油圧ホースラインを敷設します。



CMS-I-00001045

6.2.4 電圧供給を連結

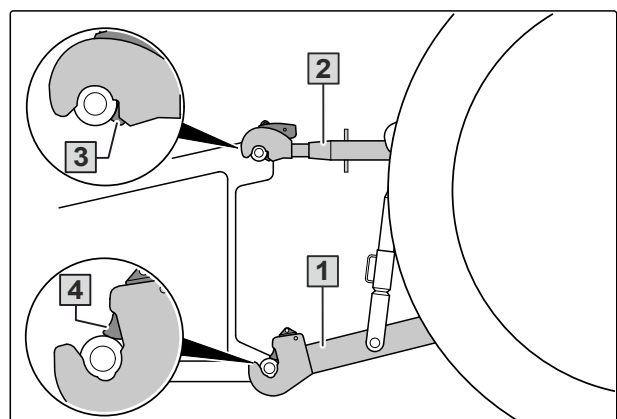
1. 電圧供給用プラグ **1** を差し込みます。
2. 電源ケーブルは、動きの自由度が十分にあり、摩擦したり挟まる箇所が生じないように敷設します。
3. 機械の照明の機能を点検します。



CMS-I-00001048

6.2.5 3点式取り付け用フレームを連結する

1. 下側リンク **1** を同じ高さに設定します。
2. トラクターの座席から、下側リンクを連結します。
3. 上側リンク **2** を連結します。
4. 上側リンクキャッチフック **3** と下側リンクキャッチフック **4** を正しくロックしているかどうか確認します。



CMS-I-00001225

6.2.6 機械を水平に揃える

機械のフレームには水準器が取り付けられています。水準器は、走行方向で機械の向きを示します。

CMS-T-00003221-E.1

1. トラクターと機械を水平な場所に移動します。
2. 機械のアップパーアームを水平にセットします。

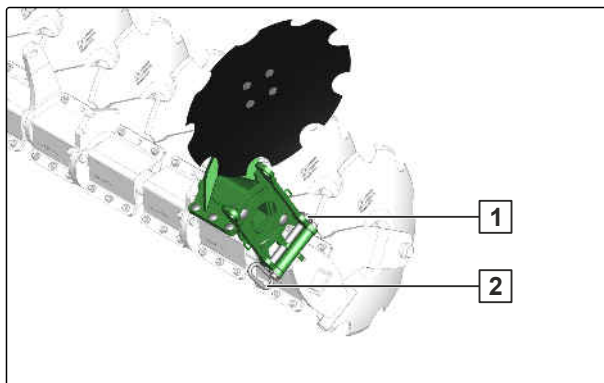
6.3 機械の使用準備

CMS-T-00002337-K.1

6.3.1 ディスクエッジの使用準備

CMS-T-00001001-D.1

1. ディスクエッジのリンチピン **1** を引きます。
2. ピン **2** を引き出します。



CMS-I-00002248

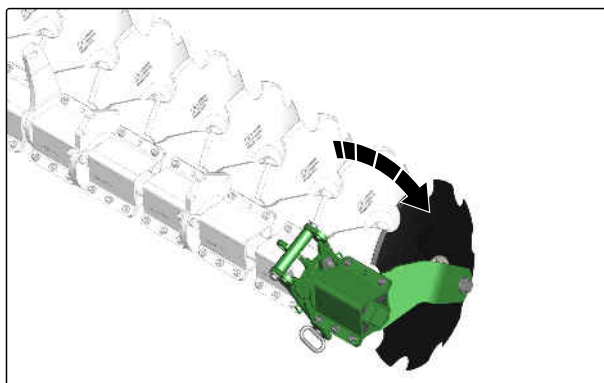


警告

押しつぶされる危険

- ▶ ディスクエッジを希望する位置へ慎重に旋回させます。

3. ディスクエッジを下へ旋回させます。



CMS-I-00002247

4. ディスクエッジはピンを差し込んで留めます。
5. ピンをリンチピンで固定してください。

6.3.2 作業深度の設定

CMS-T-00000998-K.1

6.3.2.1 ディスクの作業深度を設定

CMS-T-00008792-C.1

6.3.2.1.1 ディスクの作業深度を油圧設定

CMS-T-00000271-E.1

注記

均一な作業深度に設定できない場合は、油圧シリンダーを同期させる必要があります。

1. 油圧シリンダーを同期させるために、トラクター制御装置"緑色"で、油圧シリンダーを完全に送り出します。
2. トラクター制御装置"緑色"を 10 秒間保持します。

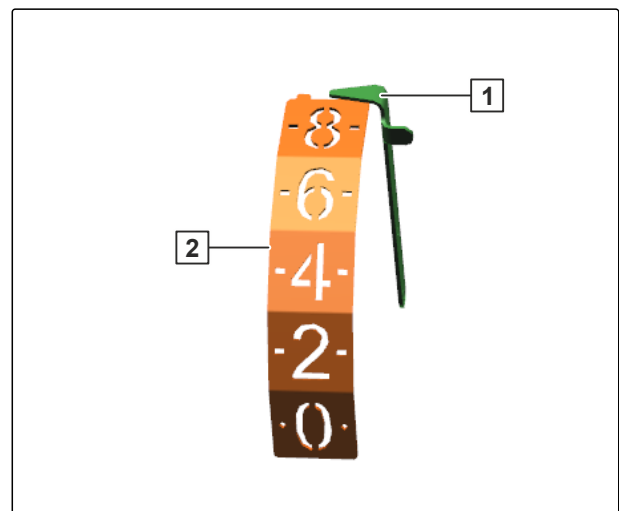
➡ 油圧シリンダーが同期します。

目盛り **2** 上の矢印 **1** は、設定された作業深度を示します。

注記

目盛りの値はただの参考値です。目盛り値は作業深度（センチメートル）に相当しません。

3. 作業深度を油圧でトラクター制御装置 "緑色" により設定します。



CMS-I-00002447

6.3.2.1.2 ディスクエッジの作業深度を設定

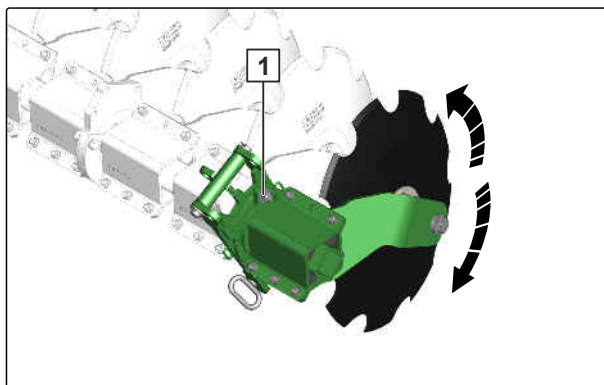
CMS-T-00006268-C.1

ディスクエッジの作業深度は、作業中に土が堤状に盛り上がらないように設定します。

1. 機械を上昇させます。
2. ねじ **1** を緩めます。

ベアリングジャーナルとディスクエッジ **2** のハブはハンドルとして機能します。

3. ディスクエッジを上方向または下方向へ動かします。



CMS-I-00004463

i 注記

指定された作業幅は、すべてのディスクが同じ作業深度に設定されている場合にのみ達成されます。

4. ねじを締め付けます。

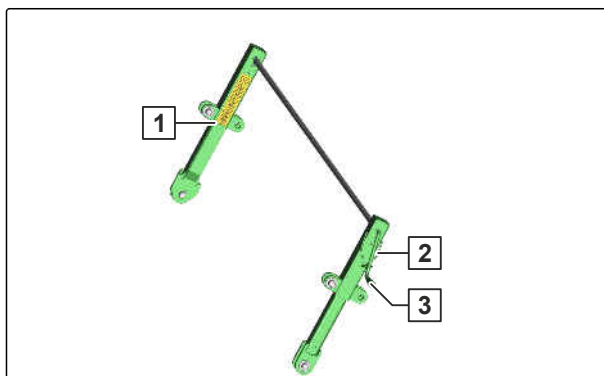
6.3.2.2 ストローハローの作業深度を設定

CMS-T-00006810-D.1

6.3.2.2.1 ストローハローの作業深度を手動で設定

CMS-T-00006811-B.1

1. 安全バー **2** を上げます。
2. クランク **3** で作業深度を変更します。
3. 読み取りエッジ **1** の目盛りから、作業深度を読み取ります。
4. 希望する作業深度に設定したら、クランクを安全バーで固定します。



CMS-I-00004788

6.3.2.2.2 ストローハローの作業深度を油圧設定

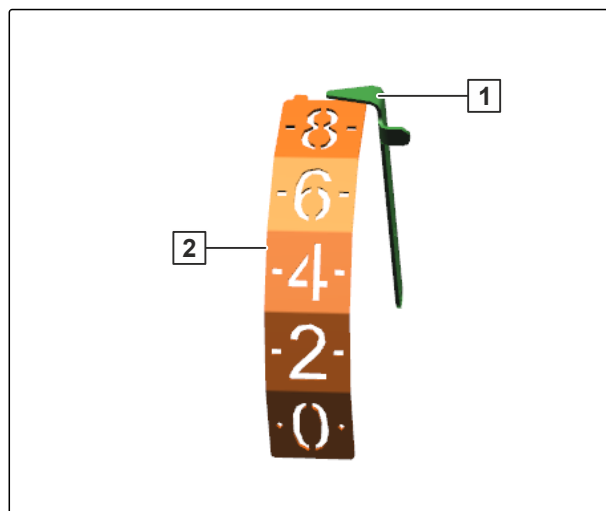
CMS-T-00004875-D.1

目盛り **2** 上の矢印 **1** は、設定された作業深度を示します。

i 注記

目盛りの値はただの参考値です。目盛り値は作業深度（センチメートル）に相当しません。

- ▶ トラクター制御装置“ベージュ色”を介して、油圧で作業深度を設定します。

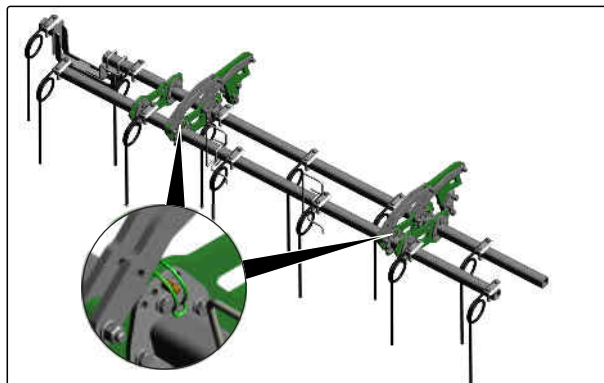


CMS-I-00002447

6.3.2.2.3 ストローハローの強度設定

CMS-T-00004959-D.1

1. ハローバーのリンチピンを両方引き出します。
2. ハローバーを希望する位置に回します。
3. ハローバーをリンチピンで固定します。



CMS-I-00003549

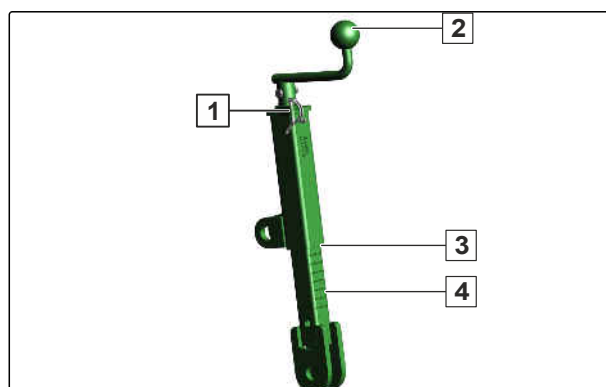
6.3.2.3 クラッシュボードの作業深度を設定

CMS-T-00002258-G.1

6.3.2.3.1 クラッシュボードの作業深度を手動設定

CMS-T-00002259-F.1

1. リンチピン **1** を引き出します。
2. クランク **2** で作業深度を変更します。
3. 読み取りエッジ **3** の目盛り **4** から、作業深度を読み取ります。
4. 希望する作業深度に設定したら、クランクをリンチピンで固定します。



CMS-I-00002053

6.3.2.3.2 クラッシュボードの作業深度を油圧設定

CMS-T-00002260-E.1

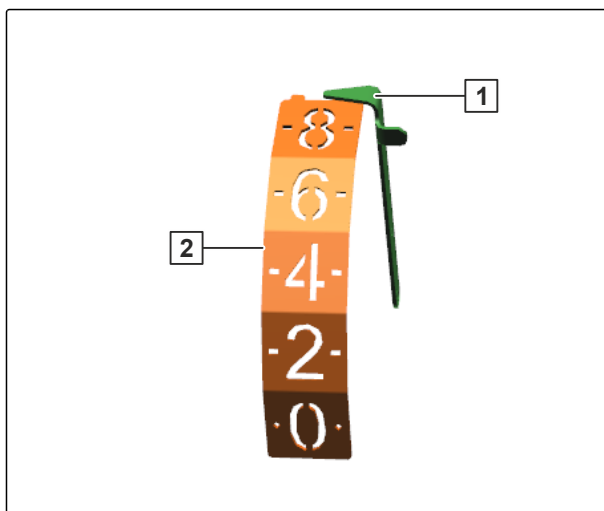
設定された作業深度が、目盛りに表示されます。



注記

目盛りの値はただの参考値です。目盛り値は作業深度（センチメートル）に相当しません。

- ▶ トラクター制御装置“ベージュ色”を介して、油圧で作業深度を設定します。



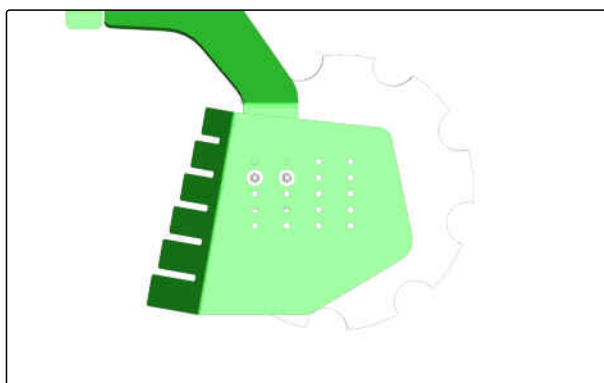
CMS-I-00002447

6.3.2.4 サイドガイドプレートの作業深度を設定

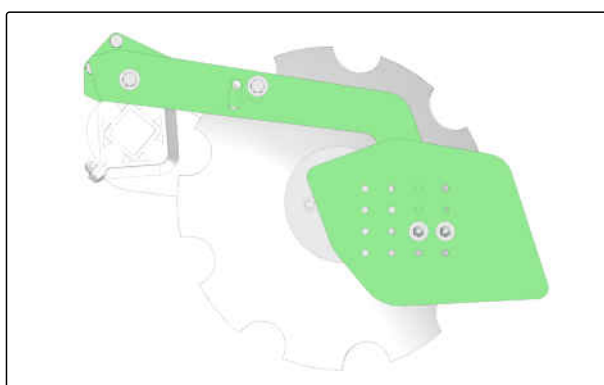
CMS-T-00004430-F.1

サイドガイドプレートは、すくい上げられた土壌を機械の内側に維持します。サイドガイドプレートは、エッジディスクで堤や溝が形成されないように設定する必要があります。

サイドガイドプレートは、保持アームのところで、そして穴パターンによって、高さと長さを後で設定できます。



CMS-I-00003484



CMS-I-00003277



重要

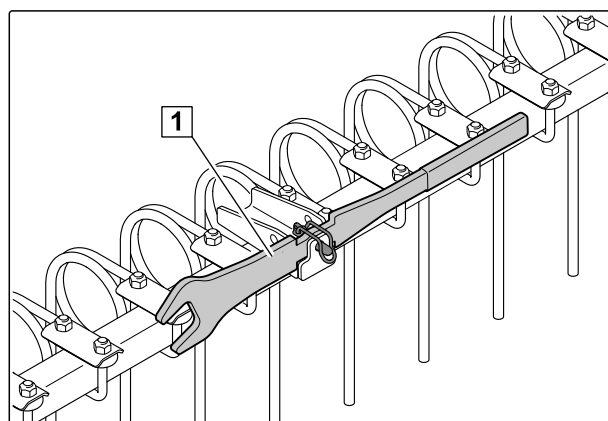
サイドガイドプレートの設定が低すぎること
による損傷

- ▶ サイドガイドプレートは、地面から少なくとも 30 mm の距離に設定してください。

1. 機械を少し上昇させます。
2. サイドガイドプレートのねじを緩めます。
3. サイドガイドプレートの高さと長さ間隔を調整します。
4. ねじを締め付けます。
5. 機械使用する際に、設定を点検します。

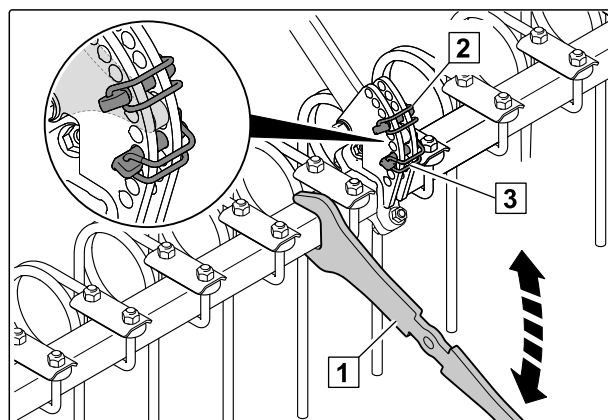
6.3.2.5 リアパッカーの設定

1. ホルダーから設定レバー **1** を取ります。



CMS-T-00002429-G.1

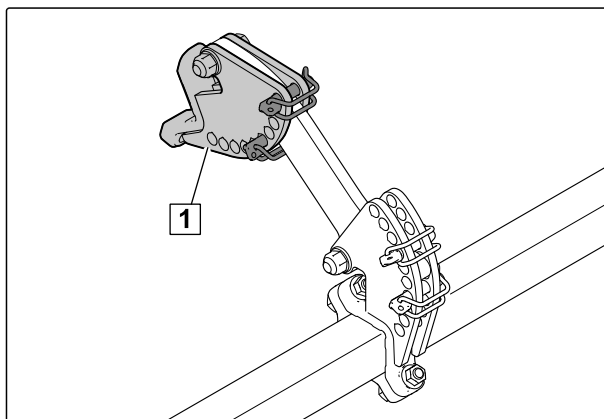
2. 設定レバー **1** でリンチピン **2** と **3** を解除します。
3. 左右の調整ユニットのリンチピンを取り外します。
4. リアパッカーを、設定レバーで希望の高さに設定します。
5. リアパッカーを希望の位置に、リンチピンで固定します。



CMS-I-00002241

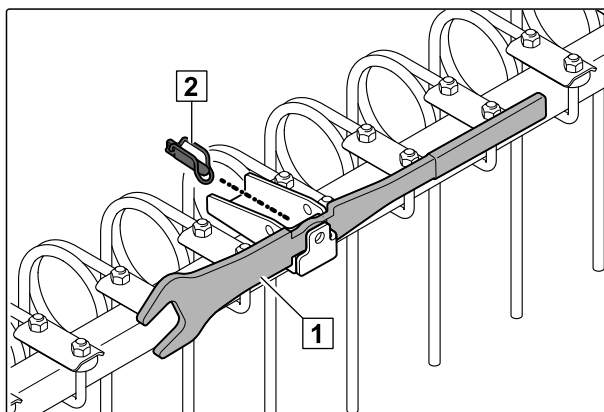
CMS-I-00002240

6. リアパッカーに上部調整ユニット **1** があれば、
上部調整ユニットを同様に設定します。



CMS-I-00002243

7. 設定レバー **1** をホルダーに入れます。
8. 設定レバーをリンチピン **2** で固定します。



CMS-I-00002242

6.3.3 リアパッカーの設定

CMS-T-00012141-A.1

6.3.3.1 ハローシステム 12-125 HI の設定

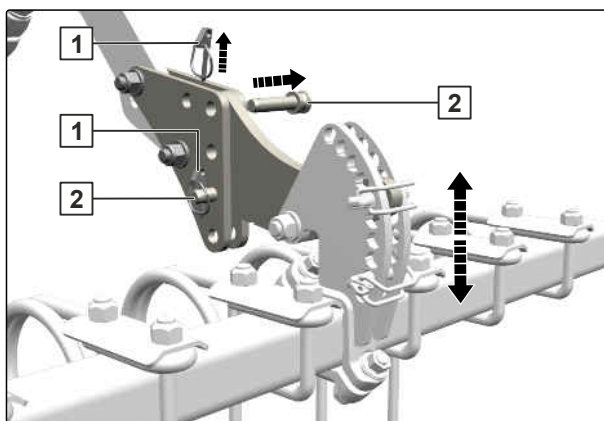
CMS-T-00012142-A.1

6.3.3.1.1 ハローシステム 12-125 HI の高さを設定

CMS-T-00012144-A.1

調整ユニットの 2 本のピンにより、4 段階の高さ設定が可能です。

1. 適切な吊り具とスリングを用いて、ハローが下がらないように固定します。
2. 両方のピン **2** のリンチピン **1** を引き出します。
3. 両方のピンを引き出します。
4. 同様にして、2 つ目の調整ユニットのピンを取り外します。
5. ハローを、希望する高さに上昇または下降させます。



CMS-I-00007854

6. 設定をピンで固定します。
7. ピンをリンチピンで固定します。

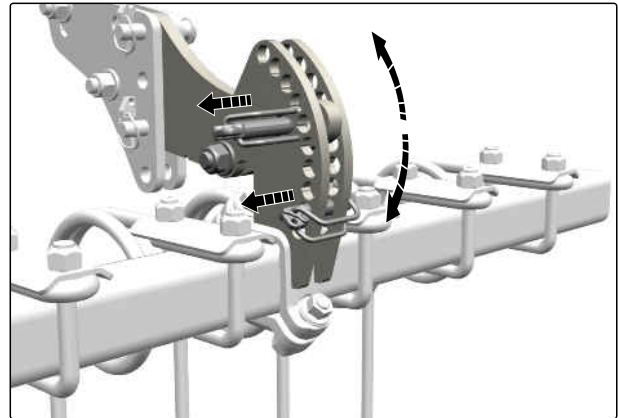
6.3.3.1.2 ハローシステム 12-125 HI の傾きを設定

CMS-T-00012143-A.1

1. 両方の調整ユニットで、両方のリンチピンを引き出します。

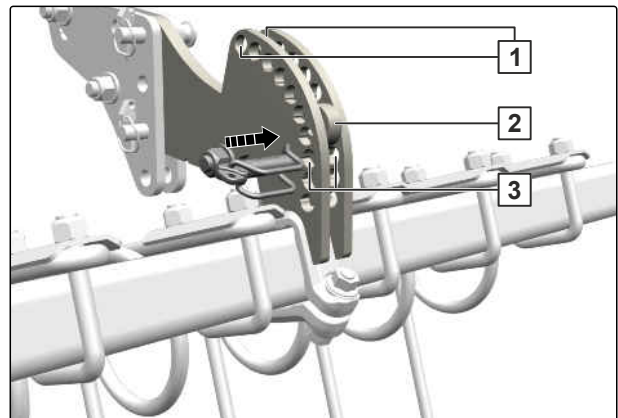
次の作業ステップも、設定レバーで実行できます。

2. ハローを希望する位置に回します。



CMS-I-00007852

3. ホルダー **2** のすぐ下にあるボア **3** に、それぞれリンチピンを差し込みます。
4. 2 つ目のリンチピンを、それぞれ一番上のボア **1** にパーキングします。



CMS-I-00007853

6.3.3.2 ハローシステム 12-125 HI KWM/DW の設定

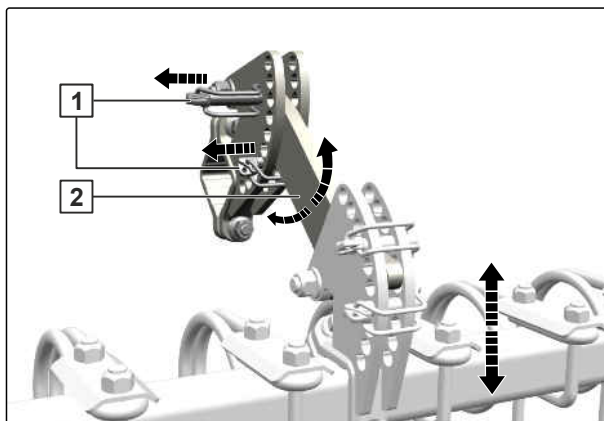
CMS-T-00012148-A.1

6.3.3.2.1 ハローシステム 12-125 HI KWM/DW の高さを設定

CMS-T-00012150-A.1

調整ユニットの 2 つのリンチピンにより、6 段階の高さ設定が可能です。

1. 両方の調整ユニットで、両方のリンチピン **1** を引き出します。
2. ハローを、希望する高さに上昇または下降させます。
3. ホルダー **2** のすぐ上とすぐ下にあるボアに、それぞれリンチピンを差し込みます。



CMS-I-00007870

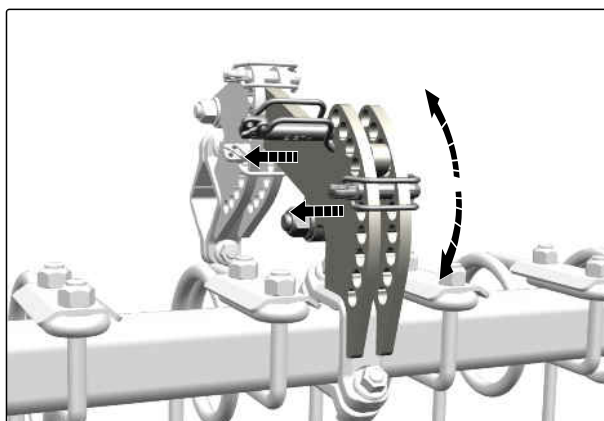
6.3.3.2.2 ハローシステム 12-125 HI KWM/DW の傾きを設定

CMS-T-00012149-A.1

1. 両方の調整ユニットで、両方のリンチピンを引き出します。

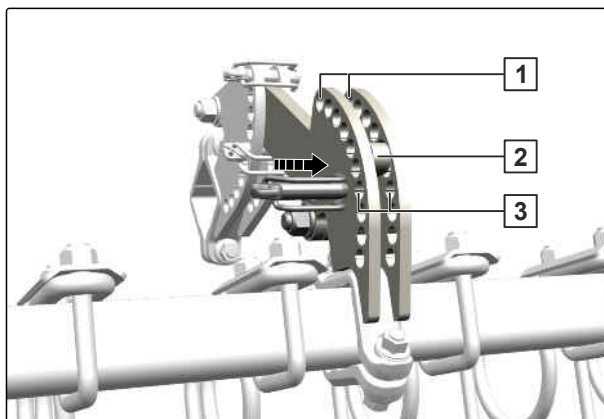
次の作業ステップも、設定レバーで実行できます。

2. ハローを希望する位置に回します。



CMS-I-00007866

3. ホルダー **2** のすぐ下にあるボア **3** に、それぞれリンチピンを差し込みます。
4. 2 つ目のリンチピンを、それぞれ一番上のボア **1** にパーキングします。



CMS-I-00007869

6.3.3.3 ハローシステム 12-250 HI の設定

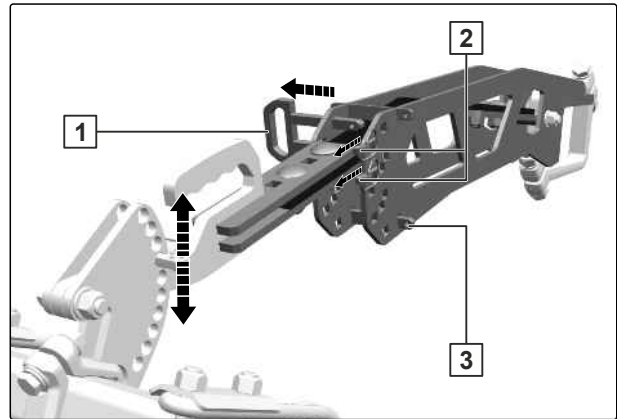
CMS-T-00012163-A.1

6.3.3.3.1 ハローシステム 12-250 HI の高さを設定

CMS-T-00012166-A.1

調整ユニットのダブルピンにより、5 段階の高さ設定が可能です。

1. 両方の調整ユニットで、両方のリンチピン **2** をダブルピン **1** から引き出して、パーキング位置 **3** に差し込みます。
2. ダブルピンを引き出します。
3. ハローを、希望する高さに上昇または下降させます。
4. 設定をダブルピンで固定します。
5. パーキング位置からリンチピンを引き出して、リンチピンでダブルピンを固定します。

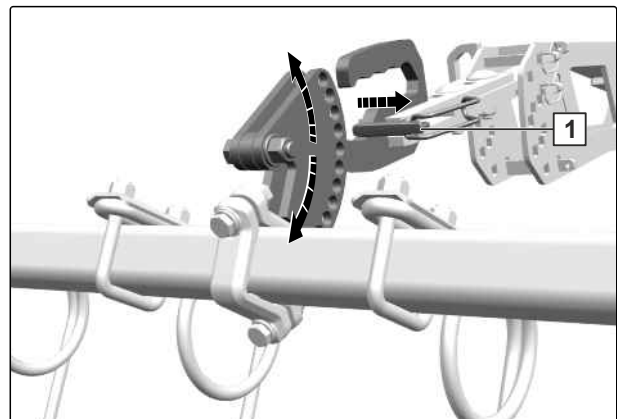


CMS-I-00007880

6.3.3.3.2 ハローシステム 12-250 HI の傾きを設定

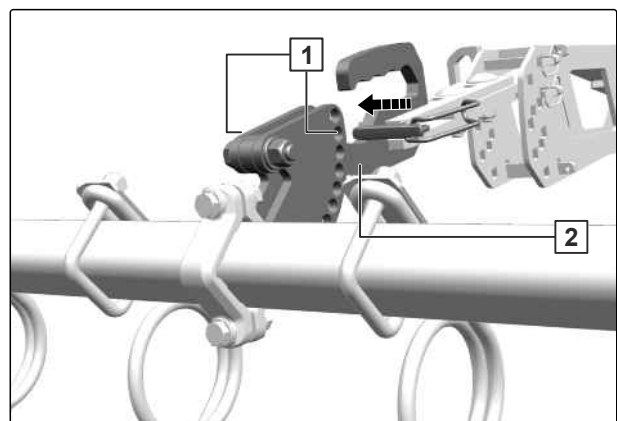
CMS-T-00012164-A.1

1. 両方の調整ユニットで、リンチピン **1** を引き出します。
- 次の作業ステップも、設定レバーで実行できます。
2. ハローを希望する位置に回します。



CMS-I-00007871

3. ホルダー **2** のすぐ上にあるボア **1** に、それぞれリンチピンを差し込みます。



CMS-I-00007874

6.3.3.4 ツインハロー CXS の設定

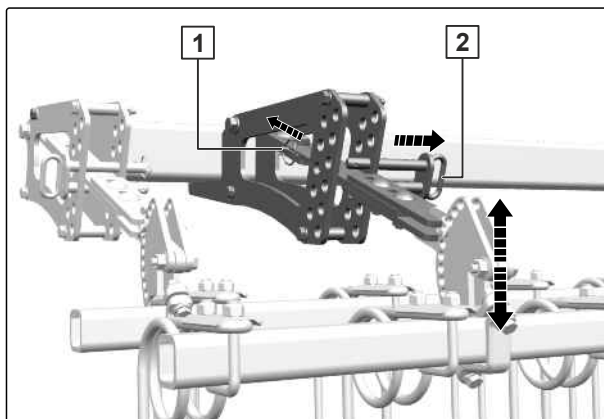
CMS-T-00012167-A.1

6.3.3.4.1 ツインハロー CXS の高さを設定

CMS-T-00012169-A.1

調整ユニットのダブルピンにより、9 段階の高さ設定が可能です。

1. ツインハローバーの両方の調整ユニットで、リンチピン **1** をダブルピン **2** から引き出します。
2. ダブルピンを引き出します。
3. ハローバーを、希望する高さに上昇または下降させます。
4. 設定をダブルピンで固定します。
5. ダブルピンをリンチピンで固定します。
6. 同様にして、2 本目のツインハローバーの高さを設定します。



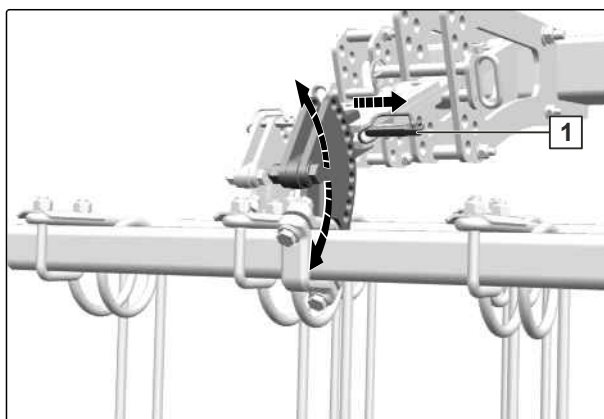
CMS-I-00007887

6.3.3.4.2 ツインハロー CXS の傾きを設定

1. ハローバーの両方の調整ユニットで、リンチピン **1** を引き出します。

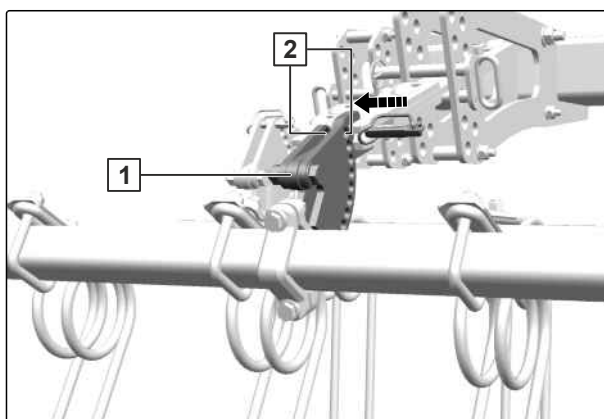
次の作業ステップも、設定レバーで実行できます。

2. ハローバーを希望する位置に回します。



CMS-I-00007882

- 3.ホルダー **1** のすぐ上にあるボア **2** に、それぞれリンチピンを差し込みます。
4. 同様にして、2 本目のツインハローバーの傾きを設定します。



CMS-I-00007884

6.3.3.5 スプリングナイフシステム 142 またはスプリングクリアリングシステム 167 の設定

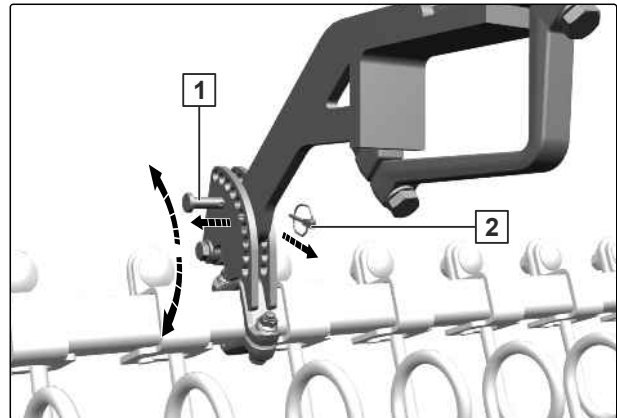
CMS-T-00012170-A.1

1. スプリングナイフバーまたはスプリングクリアリングバーの両方の調整ユニットで、リンチピン **2** をピン **1** から引き出します。

2. ピンを引き出します。

次の作業ステップも、設定レバーで実行できます。

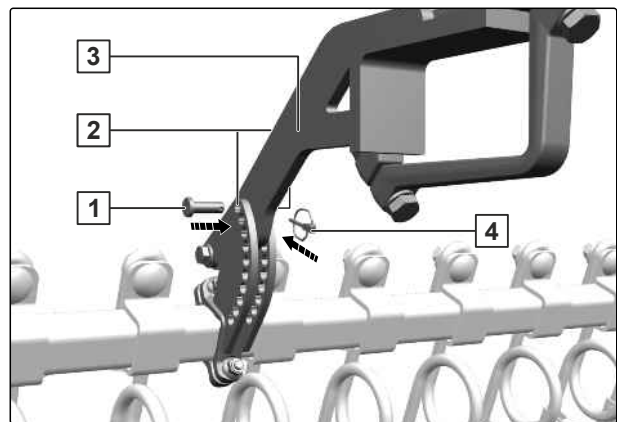
3. スプリングナイフバーまたはスプリングクリアリングバーを、希望する位置に回します。



CMS-I-00007888

4. ボア **2** とホルダー **3** のボアの 1 つに、それぞれピン **1** を差し込みます。

5. ピンをリンチピン **4** で固定します。



CMS-I-00007889

6.3.3.6 クリアリングシステム WW 142 HI のスクレーパーを設定

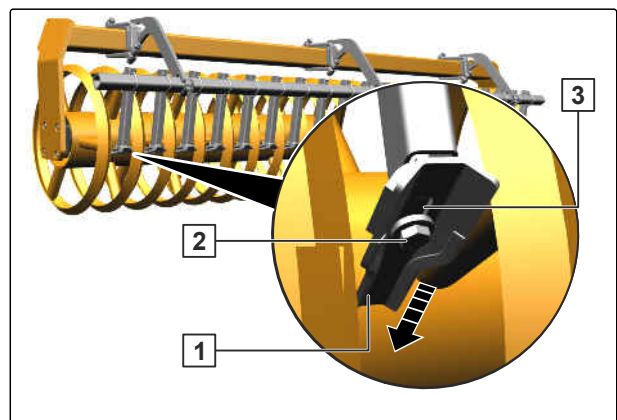
CMS-T-00012171-A.1

クリアリングシステム WW 142 HI のスクレーパーは、摩耗したら、アングルプロファイルローラーに近づけることができます。

1. ねじ **2** をスクレーパー **1** で緩めます。

2. スクレーパーを、スロット **3** 内でローラーの方向に動かします。

3. ねじを締めます。



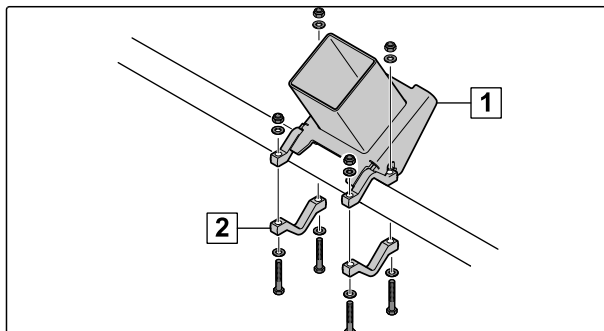
CMS-I-00007890

6.3.4 追加バラストの取り付け

CMS-T-00000069-E.1

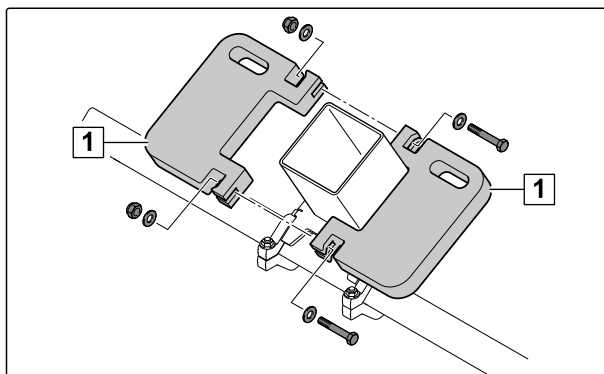
乾燥した、極度に硬い土壌の場合に、追加バラストを使用するとディスクが土壌に最適に入ります。追加バラストのセットは、それぞれ重量 25 kg のエレメント 4 つで構成されています。

1. 追加バラスト用のホルダー **1** を、クランプブラケット **2** で後部フレームキャリアの中央にネジ固定します。



CMS-I-00000643

2. それぞれ 2 つの追加バラスト **1** をホルダーに差し込みます。
3. それぞれ 2 個の追加バラストをまとめてネジ固定します。



CMS-I-00000533

6.3.5 ローラーのスクレーパーを調整

CMS-T-00000076-F.1

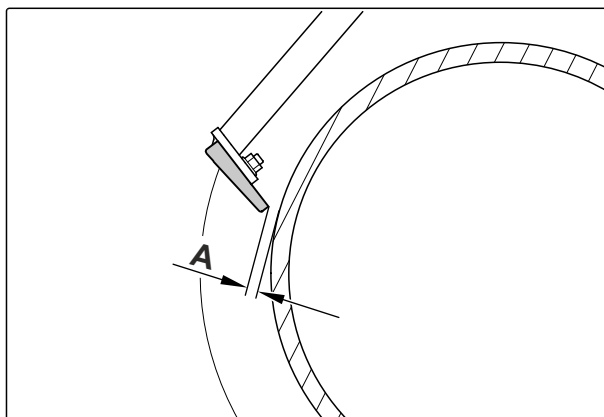
ローラーのスクレーパーは工場側で設定されています。スクレーパーは作業条件に合わせることができます。



注記

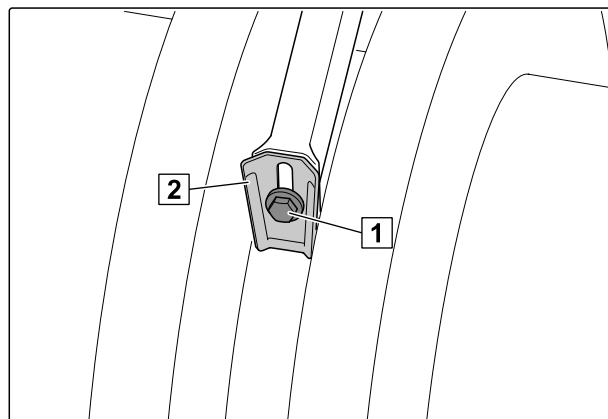
ローラーエレメントとスクレーパーの間の許容間隔 **A** :

- ウェッジリングローラー : $12 \text{ mm} \pm 2 \text{ mm}$
- マトリックストレッド付きウェッジリングローラー : $13 \text{ mm} \pm 2 \text{ mm}$
- ツースパッカーローラー : 1 mm 以上



CMS-I-00002071

1. ねじ **1** をスクレーパー **2** で緩めます。
2. スロットでスクレーパーを移動します。
3. ねじ **1** を締め付けてください。
4. 降下した機械での距離を確かめます。

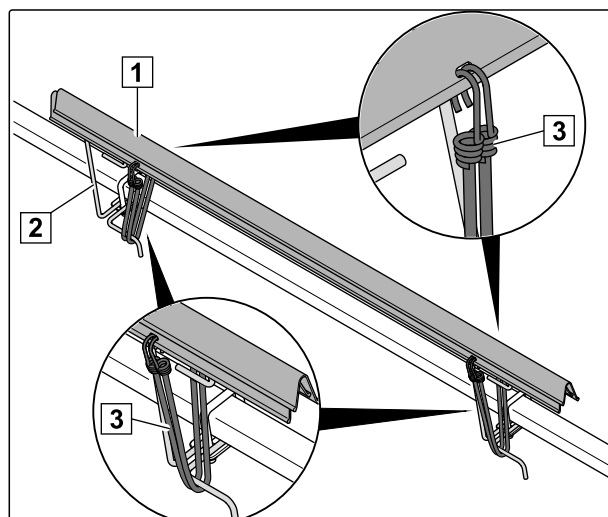


CMS-I-00000521

6.3.6 輸送用安全バーを外す

1. ハローシステムから輸送用安全バーを取り外します。
2. 輸送用安全バー **1** は 180° 旋回させ、重ねてホルダー **2** の上に置きます。
3. 輸送用安全バーをテンショナー **3** で固定します。

CMS-T-00000091-D.1

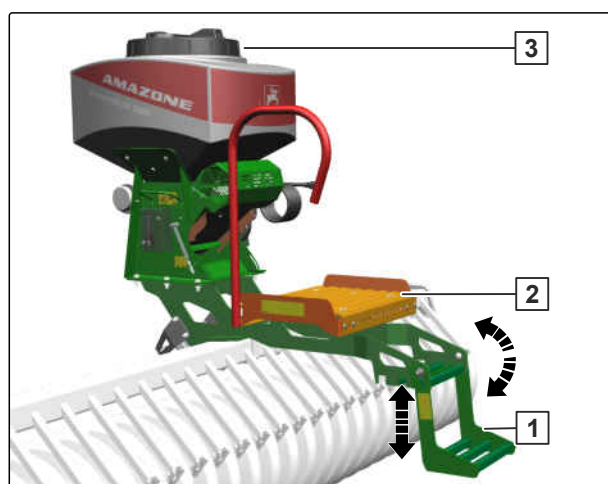


CMS-I-00000518

6.3.7 GreenDrill (グリーンドリル) の充填

1. ファンを OFF にします。
2. 操作端末を OFF にします。
3. 折りたたみはしご **1** を持ち上げて、下へ倒します。
4. プラットフォーム **2** を固定します。
5. GreenDrill (グリーンドリル) **3** のタンクを充填するには:
GreenDrill (グリーンドリル) の取扱説明書を参照してください。
6. 折りたたみはしごを上へ倒し、パーキング位置へ降ろします。

CMS-T-00015706-A.1



CMS-I-00010251

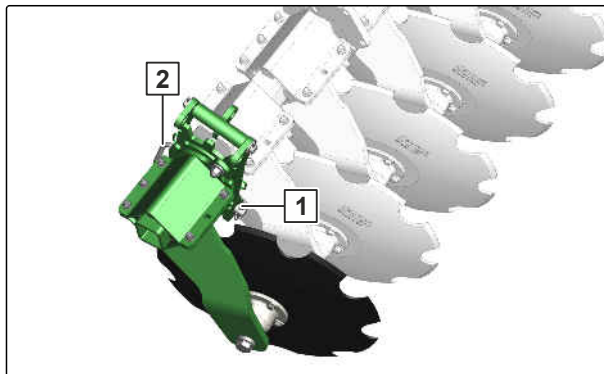
6.4 道路走行用に機械を準備

CMS-T-00002338-D.1

6.4.1 道路走行用にディスクエッジを準備

CMS-T-00001002-B.1

1. ディスクエッジのリンチピン **1** を引きます。
2. ピン **2** を引き出します。



CMS-I-00000800

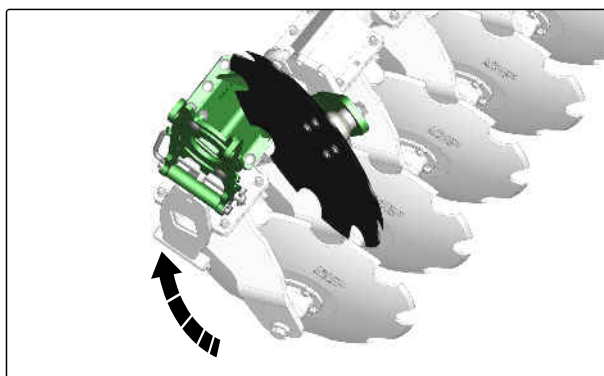


警告

押しつぶされる危険

- ▶ ディスクエッジを希望する位置へ慎重に旋回させます。

3. ディスクエッジを上へ旋回させます。



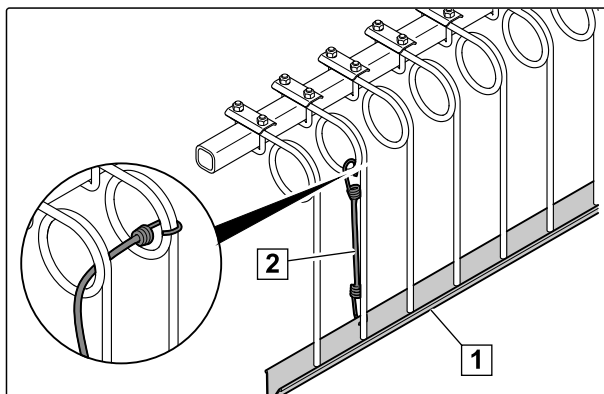
CMS-I-00000799

4. ディスクエッジはピンを差し込んで留めます。
5. ピンをリンチピンで固定してください。

6.4.2 輸送用安全バーの取り付け

CMS-T-00000614-C.1

1. タインの目立つ汚れを取り除きます。
2. 輸送用安全バー **1** をタインの上にずらします。
3. 輸送用安全バーをテンショナー **2** で固定します。
4. 緩んでいないか点検します。
5. テンショナーの張りが十分でない場合には、テンショナーをタインの輪状部分に通します。



CMS-I-00000517

6.4.3 ハローを走行位置にセット

CMS-T-00012320-A.1

6.4.3.1 ハローシステム 12-125 HI を走行位置にセット

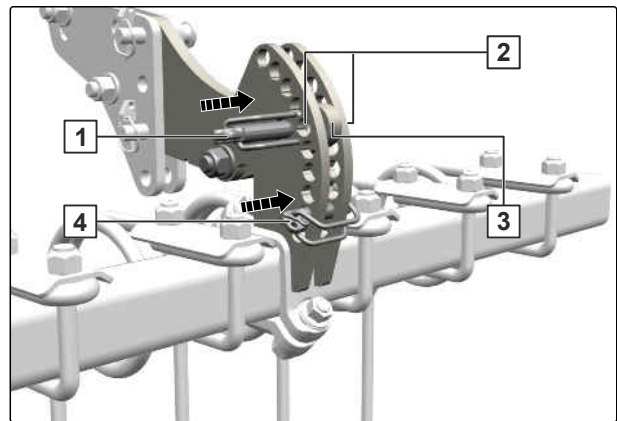
CMS-T-00012324-A.1

折り畳み式の機械では、機械を折り畳んだ時に、ハロータインと輸送用安全バーが輸送幅 3 m を超えないようにしてください。

1. 両方の調整ユニットで、両方のリンチピンを引き出します。

次の作業ステップも、設定レバーで実行できます。

2. **機械を折り畳んだ時に、ハロータインが輸送幅を超える場合:**
傾きが小さくなるように、ハローバーを回します。
3. それぞれ 1 つのリンチピン **1** を、ボア **2** およびホルダー **3** 内のボアに差し込みます。
4. 2 つ目のリンチピン **4** を、それぞれホルダーの下にパーキングします。



CMS-I-00007934

6.4.3.2 ハローシステム 12-125 HI KWM/DW を走行位置にセット

CMS-T-00012322-A.1

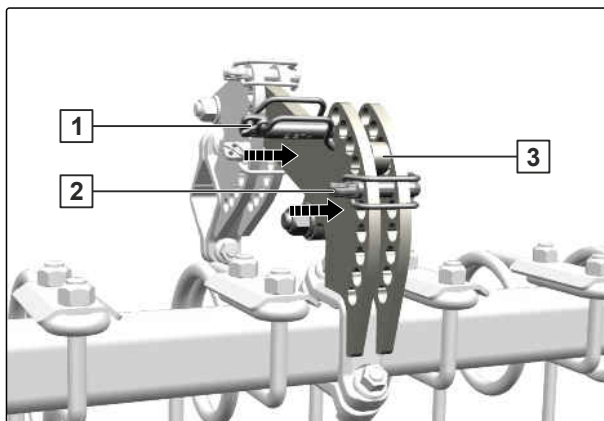
折り畳み式の機械では、機械を折り畳んだ時に、ハロータインと輸送用安全バーが輸送幅 3 m を超えないようにしてください。

1. 両方の調整ユニットで、両方のリンチピンを引き出します。

次の作業ステップも、設定レバーで実行できます。

2. **機械を折り畳んだ時に、ハロータインが輸送幅を超える場合:**
傾きが小さくなるように、ハローバーを回します。

3. リンチピン **1** と **2** を、ホルダー **3** のすぐ上とすぐ下にあるボアに、それぞれ差し込みます。



CMS-I-00007936

6.4.3.3 ハローシステム 12-250 HI を走行位置にセット

CMS-T-00012326-A.1

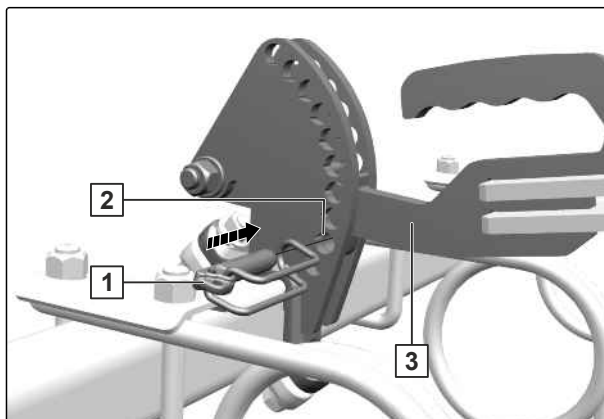
折り畳み式の機械では、機械を折り畳んだ時に、ハロータインと輸送用安全バーが輸送幅 3 m を超えないようにしてください。

1. 両方の調整ユニットで、リンチピンを引き出します。

次の作業ステップも、設定レバーで実行できます。

2. 機械を折り畳んだ時に、ハロータインが輸送幅を超える場合:
傾きが小さくなるように、ハローバーを回します。

3. リンチピン **1** を、ボア **2** およびホルダー **3** 下部のボアに、それぞれ差し込みます。



CMS-I-00007907

6.4.3.4 ツインハロー CXS を走行位置にセット

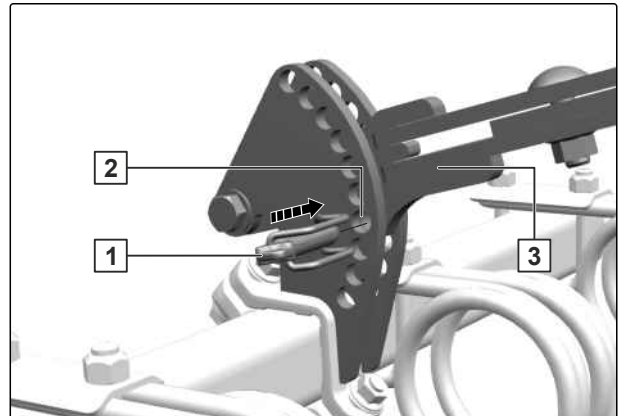
CMS-T-00012328-A.1

折り畳み式の機械では、機械を折り畳んだ時に、ハロータインと輸送用安全バーが輸送幅 3 m を超えないようにしてください。

1. ツインハローバーの両方の調整ユニットで、リンチピンを引き出します。

次の作業ステップも、設定レバーで実行できます。

2. 機械を折り畳んだ時に、ハロータインが輸送幅を超える場合:
傾きが小さくなるように、ハローバーを回します。
3. リンチピン **1** を、ボア **2** およびホルダー **3** 下部のボアに、それぞれ差し込みます。
4. 同様にして、2 本目のツインハローバーを走行位置にセットします。



CMS-I-00007908

機械を使用

7

CMS-T-00000071-I.1

7.1 機械を使用

CMS-T-001727-G.1

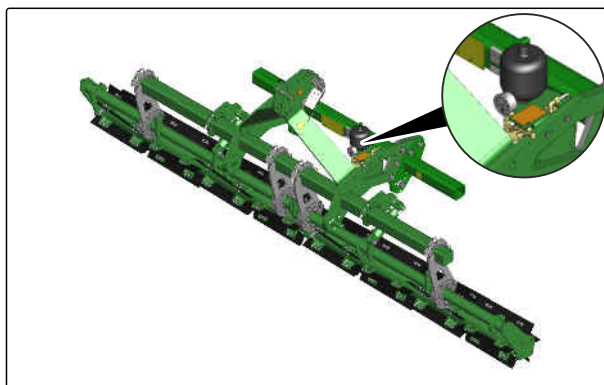
1. 機械を圃場で降下させてください。
2. 3 点式パワーリフトの油圧系統を、フロート位置にします。

7.2 カッターローラーを使用

CMS-T-00006284-C.1

カッターローラーは、作物の残渣と間作物を細断します。カッターローラーは、油圧蓄圧器を介して、自動的にプリロードがかけられます。油圧蓄圧器には、停止栓が取り付けられています。

1. 停止栓を開きます。
2. トラクター制御装置“ベージュ色”を介して、カッターローラーを使用します。
3. 油圧プリロードをかけるために、トラクター制御装置“ベージュ色”を 20 秒間保持します。
4. トラクター制御装置をフロート位置にします。



CMS-I-00004475

7.3 枕地で方向転換

CMS-T-001728-B.1

1. 枕地でのカーブ走行時に横方向への負荷を避けるため、整地用ツールを上昇させます。
2. 機械の方向が走行方向と一致する場合、整地工具を降下させます。

機械を置く

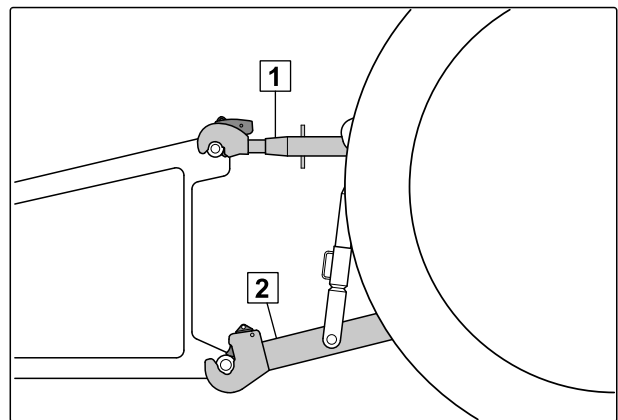
8

CMS-T-00001393-G.1

8.1 3点式取り付け用フレームを連結解除する

CMS-T-00001401-D.1

1. 機械を、水平で固い場所に置きます。
2. 上側リンク **1** を解放します。
3. 機械の上側リンクを連結解除します。
4. 下側リンク **2** を解放します。
5. トラクターの座席から、機械の下側リンクを連結解除します。



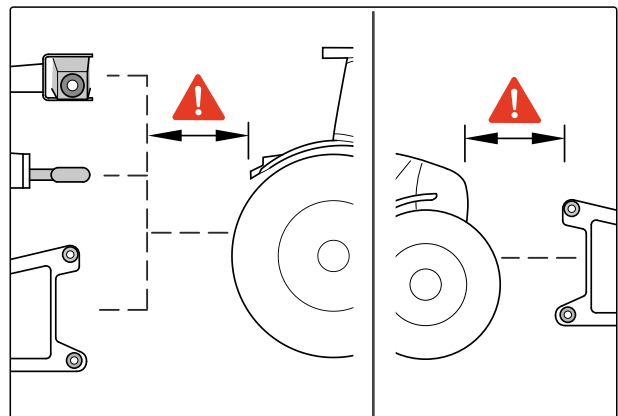
CMS-I-00001249

8.2 トラクターを機械から取り外す

CMS-T-00005795-D.1

供給ラインを問題なく接続解除できるように、トラクターと機械の間に十分なスペースを確保する必要があります。

- ▶ 十分な距離を確保できる位置まで、トラクターを機械から遠ざけます。

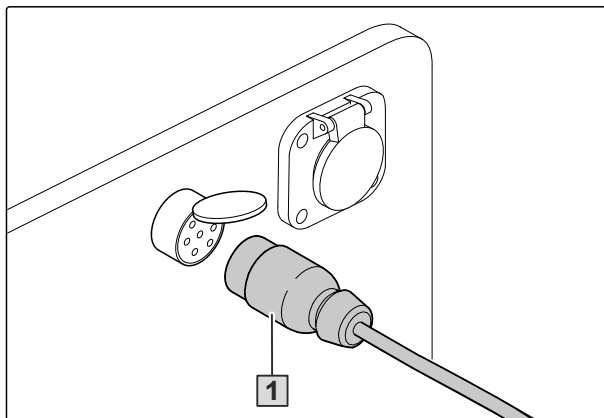


CMS-I-00004045

8.3 電圧供給の連結解除

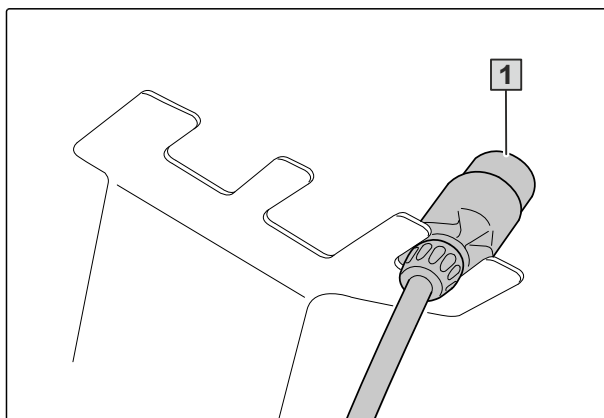
CMS-T-00001402-H.1

1. 電圧供給用プラグ **1** を引き抜きます。



CMS-I-00001048

2. プラグ **1** をホースホルダーに掛けます。

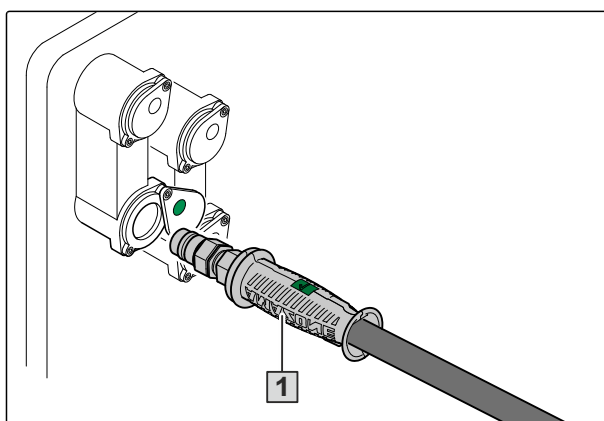


CMS-I-00001248

8.4 油圧ホースラインの連結解除

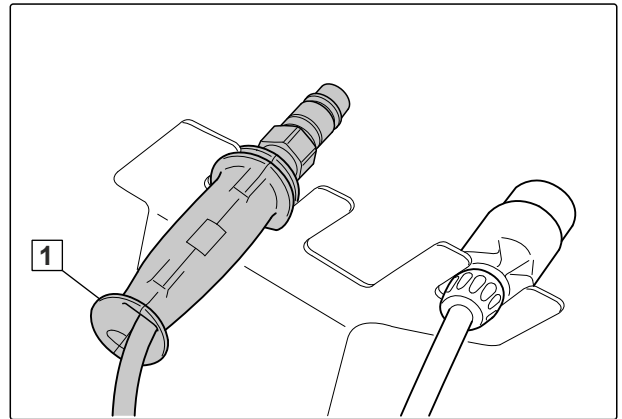
CMS-T-00000277-F.1

1. トラクターと機械を固定します。
2. トラクター制御装置の操作レバーをフロート位置にします。
3. 油圧ホースライン **1** を連結解除します。
4. ちり除けキャップを油圧システムのソケットに取り付けます。



CMS-I-00001065

5. 油圧ホースライン **1** をホースホルダーに掛けま
す。



CMS-I-00001250

機械の修理

9

CMS-T-00000990-L.1

9.1 機械のメンテナンス

CMS-T-00002326-L.1

9.1.1 メンテナンススケジュール

初回使用後		
ディスクキャリアの接続をチェック	以下のページを参照 62	
ローラーを点検	以下のページを参照 63	
油圧ホースラインの点検	以下のページを参照 64	
必要に応じて		
ディスクの交換	以下のページを参照 61	
ディスク列を揃える	以下のページを参照 61	工場での作業
毎日		
下側リンクピンおよび上側リンクピンの点検	以下のページを参照 63	
50 運転時間ごと / 毎週		
油圧ホースラインの点検	以下のページを参照 64	
200 運転時間ごと / 3 ヶ月ごと		
ローラーを点検	以下のページを参照 63	

9.1.2 ディスクの交換

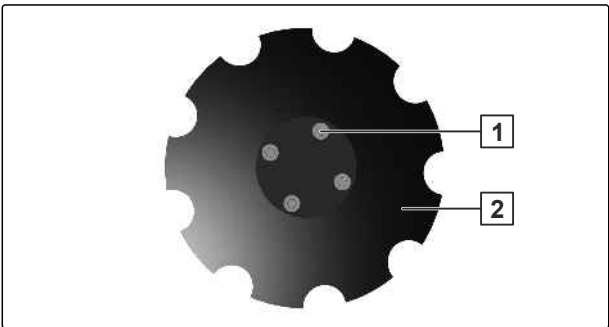
CMS-T-00002327-I.1

 間隔

- 必要に応じて

元のディスク直径	摩耗限界
46 cm	36 cm
48 cm	40 cm
51 cm	36 cm
61 cm	43 cm
66 cm	46 cm

1. 機械をわずかに上昇させます。



CMS-I-00002450

2. ディスクを固定している 4 本のねじ **1** を緩めます。
3. ディスク **2** を取り出します。
4. 新しいディスクを、4 本のねじで固定します。

9.1.3 ディスク列を揃える

CMS-T-00015517-A.1

 工場での作業

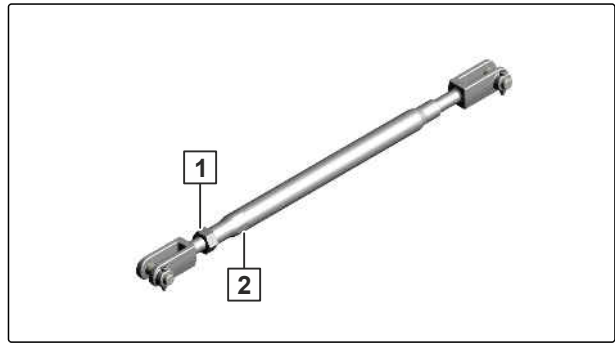
- 必要に応じて

ディスク列は、設定スピンドルによって、相互に揃えられます。

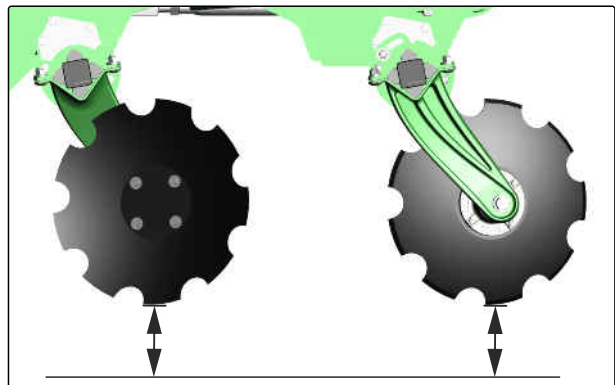
ディスク列を揃えるのは、次のような場合に有効です：

- ディスク列の作業深度を、互いに最適化
- 機械の斜めの引っ張りを修正
- ディスクの偏摩耗を防止

1. 機械を水平に揃えます。
2. ディスク列の作業深度を最小値に設定します。
➡ ディスクは地面に立っていません。
3. すべての設定スピンドルでロックナット **1** を緩めます。
4. ディスク列を、六角形プロフィール **2** で、設定スピンドルに揃えます。
5. すべてのディスクキャリアが均等に並んでいるか点検します。
6. ロックナットを締めます。



CMS-I-00003204



CMS-I-00003385

9.1.4 ディスクキャリアの接続をチェック

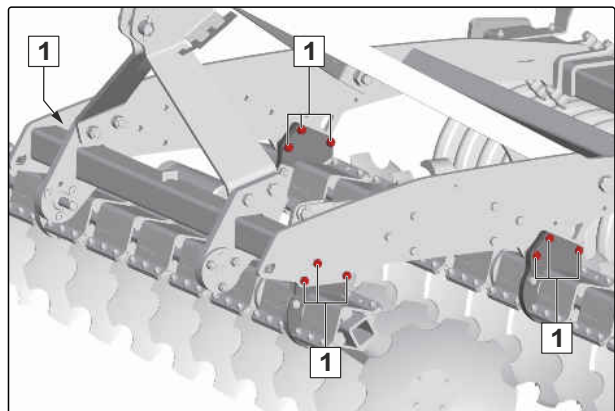
CMS-T-00002328-E.1



間隔

- 初回使用後

- ▶ ネジ継ぎ手が緩んでいないか点検します。



CMS-I-00000531

9.1.5 ローラーを点検

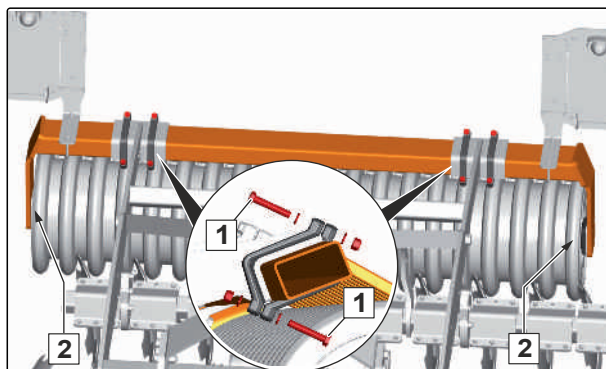
CMS-T-00002329-D.1



間隔

- 初回使用後
- 200 運転時間ごと
または
3 ヶ月ごと

- ▶ ネジ継ぎ手 **1** が緩んでいないか点検します。
- ▶ ネジを交換する必要がある場合には、
ねじの向きに注意してください。
- ▶ ローラーのベアリング **2** の可動性を点検します。



CMS-I-00000099

9.1.6 下側リンクピンおよび上側リンクピンの点検

CMS-T-00011936-A.1

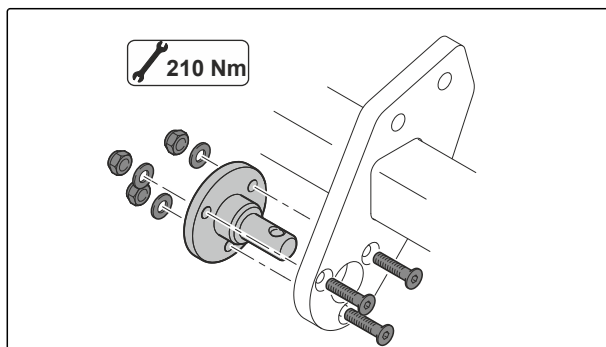


間隔

- 毎日

下側リンクピンおよび上側リンクピンの目視検査の 基準：

- 亀裂
 - 破損
 - 変形
 - 許容摩耗：2 mm
1. 指定された基準で、下側リンクピンおよび上側リンクピンを点検します。
 2. 摩耗したピンを交換します。
 3. 取り付けボルトが緩んでいないかチェックします。



CMS-I-00007687

9.1.7 油圧ホースラインの点検

CMS-T-00002331-G.1



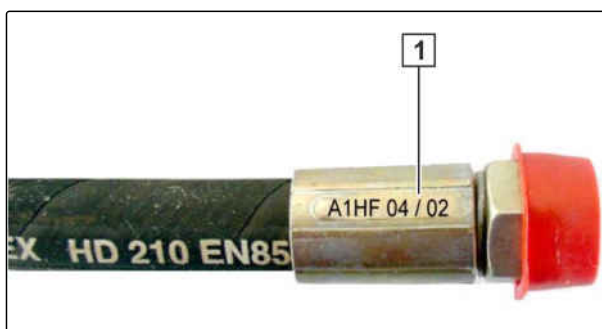
間隔

- 初回使用后
 - 50 運転時間ごと
- または
- 毎週

1. 油圧ホースラインに、擦れ跡や切断、亀裂、変形などの損傷がないか点検します。
2. 油圧ホースラインに漏れがないか点検します。
3. 緩んだねじ接続部を締め直します。

油圧ホースラインは、最大で 6 年間使用できます。

4. 製造日 **1** を確認してください。



CMS-I-00000532



工場での作業

5. 摩耗または損傷したり、古くなった油圧ホースラインは交換します。

9.2 機械の清掃

CMS-T-00000593-F.1



重要

高圧ノズルの噴流により機械が破損する危険

- ▶ 高圧洗浄機または熱水式高圧洗浄機の噴流は、マークされたコンポーネントに決して向けないでください。
- ▶ 高圧洗浄機または熱水式高圧洗浄機の噴流は、絶対に電気部品や電子部品に向けないでください。
- ▶ 噴流を、決して潤滑ポイントやベアリング、銘板、警告マーク、接着フィルムに直接向けないでください。
- ▶ 高圧ノズルと機械の間隔は、必ず 30 cm 以上に保ってください。
- ▶ 水圧は 120 bar 以下に設定してください。



CMS-I-00002692

- ▶ 機械を高圧洗浄機または熱水式高圧洗浄機で清掃します。

9.3 機械の格納

CMS-T-00005282-A.1



重要

腐食による機械損傷

汚れは湿気を吸収するので、腐食につながります。

- ▶ 機械は、必ず清掃した状態で、風雨の影響を受けない場所に保管してください。

1. 機械を清掃します。
2. 未塗装の部品は、防食剤で腐食を防ぎます。
3. すべての潤滑ポイントを潤滑します。余分なグリースを取り除きます。
4. 機械を、風雨の影響を受けない場所に置きます。

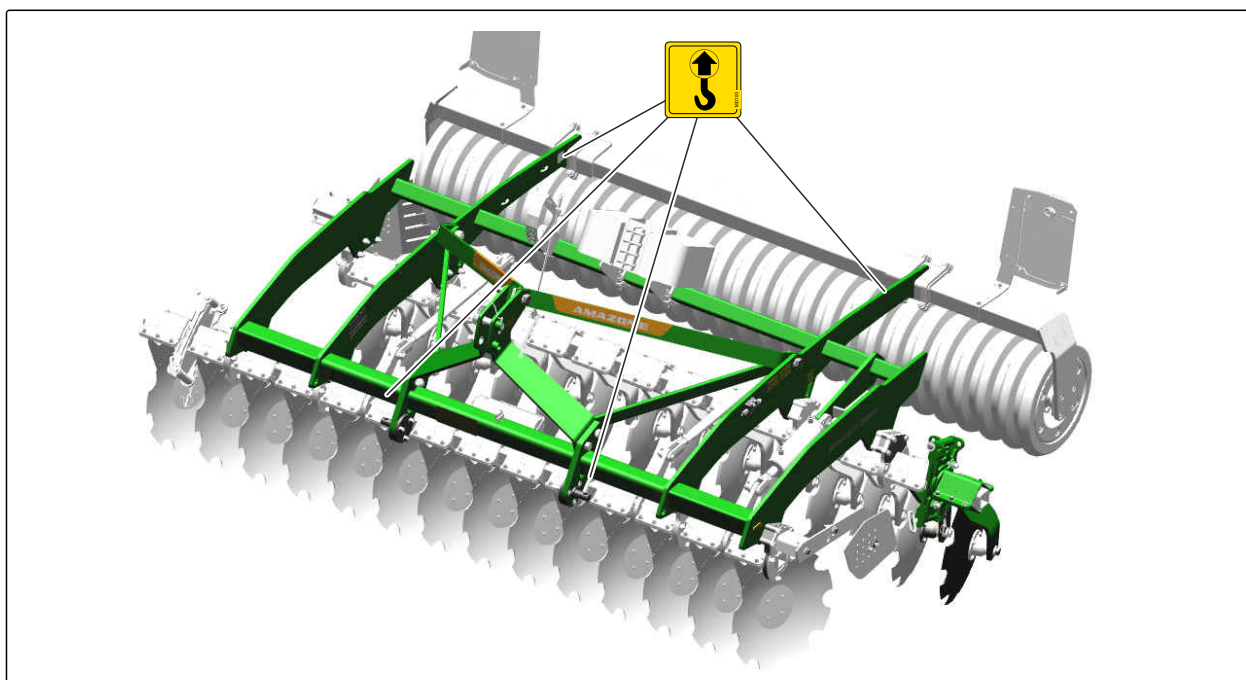
機械の積載

10

CMS-T-00002443-E.1

10.1 機械をクレーンで積載

CMS-T-00002444-D.1



CMS-I-00002254

機械には、リフト固定具用の固定箇所が4つあります。

**警告**

不適切に取り付けたリフト固定具による事故の危険

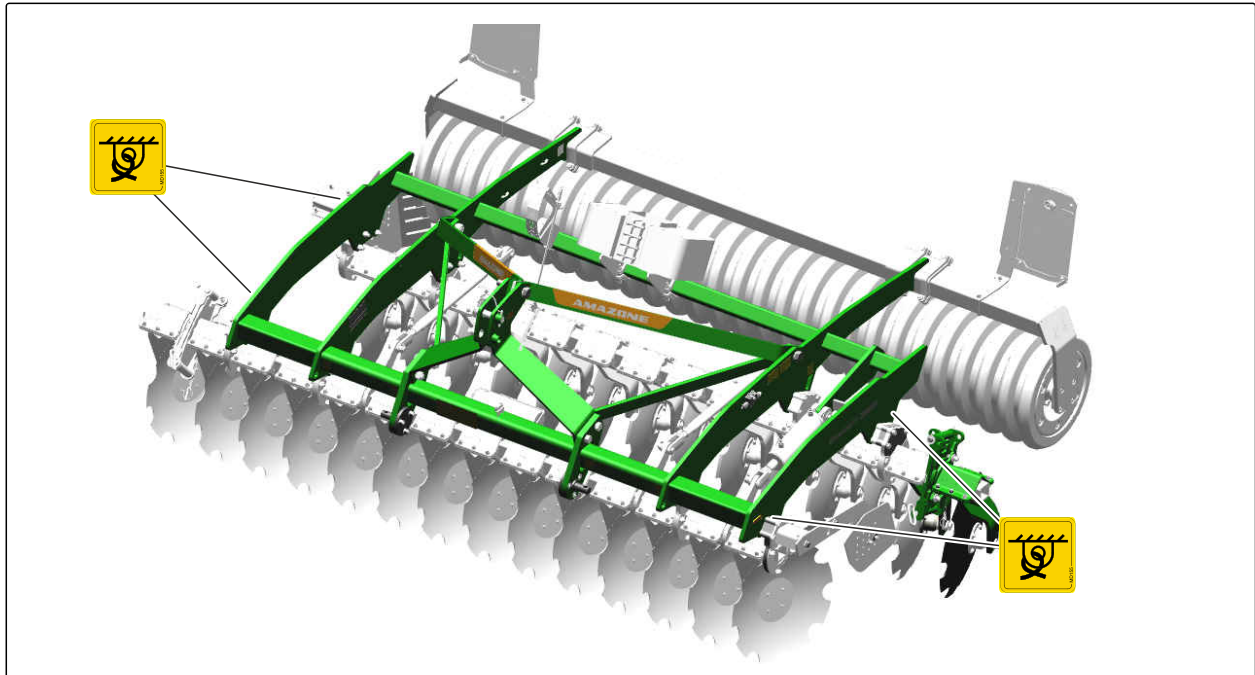
マークされていない固定箇所に固定具を取り付けると、リフト時に機械が損傷したり、安全性が損なわれる恐れがあります。

- ▶ リフト固定具は、必ずマークされている固定位置に取り付けてください。

1. リフト固定具を、所定の固定箇所に固定します。
2. 機械をゆっくり上昇させます。

10.2 機械をラッシング

CMS-T-00012674-A.1



CMS-I-00008078

機械は、ラッシング用具を固定するための、ラッシングポイントを4つ備えています。



警告

不適切に取り付けられたラッシング用具による事故の危険

マークされていないラッシングポイントにラッシング用具を取り付けると、ラッシング時に機械が損傷したり、安全性が損なわれる恐れがあります。

- ▶ ラッシング用具は、必ずマークされているラッシングポイントに取り付けてください。

1. 機械を運搬車両に乗せます。
2. マークされているラッシングポイントに、ラッシング用具を取り付けます。
3. 荷物固定の国内規制に従って、機械をラッシングします。

機械の廃棄

11

CMS-T-00010906-B.1

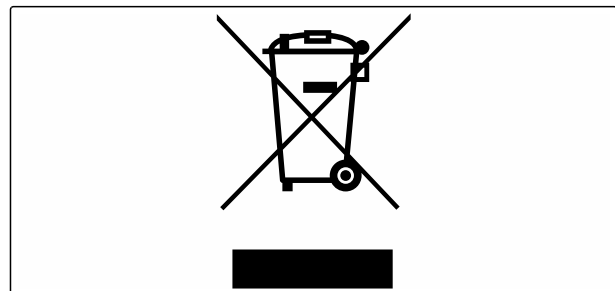


環境に関する注記

不適切な廃棄による環境破壊

- ▶ 地元当局の規定を遵守してください。
- ▶ 機械の廃棄マークに注意してください。
- ▶ 次の指示に従ってください。

1. このマークが付いたコンポーネントは、家庭ごみとして廃棄しないでください。



CMS-I-00007999

2. バッテリーは、販売店に引き渡します

または

バッテリーは、回収場所に持ち込みます。
3. リサイクル可能な材料は、リサイクルに出します。
4. 作業用資材は、有害廃棄物として取り扱います。



工場での作業

5. 冷媒は、廃棄します。

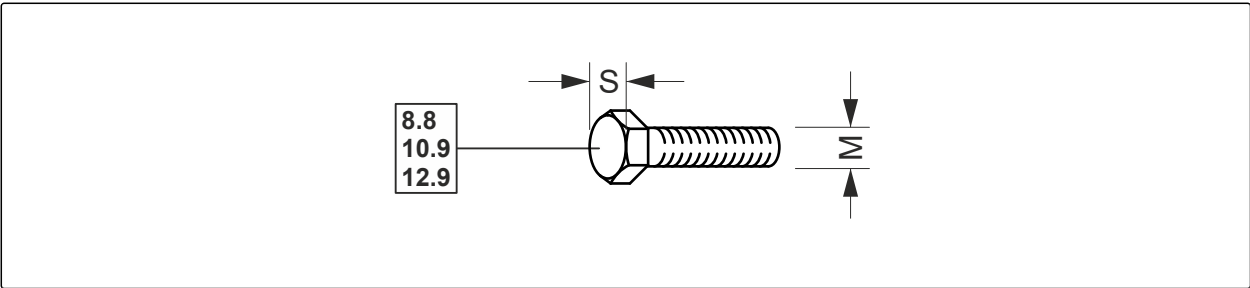
付録

12

CMS-T-00000372-D.1

12.1 ねじの締め付けトルク

CMS-T-00000373-E.1



CMS-I-000260

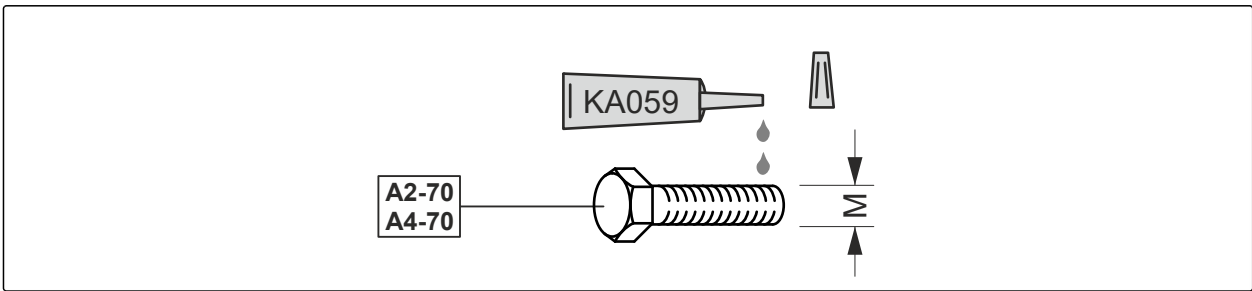


注記

他に指示がない場合、表に記載されたねじの締め付けモーメントが適用されます。

M	S	強度区分		
		8.8	10.9	12.9
M8	13 mm	25 Nm	35 Nm	41 Nm
M8x1		27 Nm	38 Nm	41 Nm
M10	16(17) mm	49 Nm	69 Nm	83 Nm
M10x1		52 Nm	73 Nm	88 Nm
M12	18(19) mm	86 Nm	120 Nm	145 Nm
M12x1.5		90 Nm	125 Nm	150 Nm
M14	22 mm	135 Nm	190 Nm	230 Nm
M 14x1.5		150 Nm	210 Nm	250 Nm
M16	24 mm	210 Nm	300 Nm	355 Nm
M16x1.5		225 Nm	315 Nm	380 Nm
M18	27 mm	290 Nm	405 Nm	485 Nm
M18x1.5		325 Nm	460 Nm	550 Nm
M20	30 mm	410 Nm	580 Nm	690 Nm
M20x1.5		460 Nm	640 Nm	770 Nm

M	S	強度区分		
		8.8	10.9	12.9
M22	32 mm	550 Nm	780 Nm	930 Nm
M22x1.5		610 Nm	860 Nm	1,050 Nm
M24	36 mm	710 Nm	1,000 Nm	1,200 Nm
M24x2		780 Nm	1,100 Nm	1,300 Nm
M27	41 mm	1,050 Nm	1,500 Nm	1,800 Nm
M27x2		1,150 Nm	1,600 Nm	1,950 Nm
M30	46 mm	1,450 Nm	2,000 Nm	2,400 Nm
M30x2		1,600 Nm	2,250 Nm	2,700 Nm



CMS-I-00000065

M	締め付けトルク	M	締め付けトルク
M4	2.4 Nm	M14	112 Nm
M5	4.9 Nm	M16	174 Nm
M6	8.4 Nm	M18	242 Nm
M8	20.4 Nm	M20	342 Nm
M10	40.7 Nm	M22	470 Nm
M12	70.5 Nm	M24	589 Nm

12.2 関連文書

CMS-T-00000615-A.1

- トラクターの取扱説明書
- GreenDrill（グリーンドリル）200-E の取扱説明書

索引

13

13.1 用語集

CMS-T-00000513-B.1

ト

トラクター

本取扱説明書では、他の農作業用トラクターについても一貫してトラクターと呼びます。トラクターには、機械を取り付けるか、牽引します。

作

作業物質

作業物質は運転準備を整えるために必要です。作業物質には、潤滑オイルや潤滑グリース、あるいは洗浄剤などの、洗剤や潤滑剤が含まれます。

機

機械

取り付けられた機械はトラクターの付属品です。しかし本取扱説明書においては、取り付けられた機械は一貫して機械と呼びます。

13.2 インデックス

3		スプリングナイフシステム 142	
		設定する	49
3 点式取り付け用フレーム		スプリングナイフシステム	
連結	37	設定する	43
連結解除	57		
G		スレッドパック	
		位置	19
		説明	26
GreenDrill (グリーンドリル)			
充填する	51		
説明	27		
ね			
ねじの締め付けトルク	69		
カ			
カッターローラー			
使用	56		
ク			
クラッシュボード			
作業深度の手動設定	41		
油圧による作業深度設定	42		
クリアリングシステム WW 142 HI			
スクレーパーの設定	49		
クリアリングシステム			
設定する	43		
サ			
サイドガイドプレート			
作業深度の設定	42		
ス			
スクレーパー			
クリアリングシステム WW 142 HI の設定	49		
調整	50		
ストローハロー			
強度設定	41		
作業深度の手動設定	40		
油圧による作業深度設定	41		
スプリングクリアリングシステム 167			
設定する	49		
スプリングクリアリングシステム			
設定する	43		
		タイヤ負荷能力	
		計算	32
		ツ	
		ツインハロー CXS	
		傾きの設定	48
		高さの設定	47
		走行位置にセット	54
		ツール	26
		デ	
		ディスクエッジ	
		位置	19
		作業深度の設定	39
		使用準備	38
		道路走行の準備	52
		ディスク	
		ディスクキャリアの接続をチェック	62
		ディスク列を揃える	61
		技術データ	29
		交換	61
		油圧による作業深度設定	39
		デジタル版の取扱説明書	4
		ト	
		トラクター	
		必要なトラクター特性を計算	32
		ド	
		ドキュメント	26

ハ	住
ハローシステム	住所
12-125 HI KWM/DW、傾きの設定	46
12-125 HI KWM/DW、高さの設定	45
12-125 HI KWM/DW、走行位置にセット	53
12-125 HI、傾きの設定	45
12-125 HI、高さの設定	44
12-125 HI、走行位置にセット	53
12-250 HI、傾きの設定	47
12-250 HI、高さの設定	46
12-250 HI、走行位置にセット	54
設定する	43
バ	作
バラスト	作業深度
追加バラストの取り付け	41
	クラッシュボードの手動設定
	41
	クラッシュボードの油圧設定
	42
	クリアリングシステムの設定
	43
	サイドガイドプレートの設定
	42
	ストローハローの強度設定
	41
	ストローハローの手動設定
	40
	ストローハローの油圧設定
	41
	スプリングクリアリングシステムの設定
	43
	スプリングナイフシステムの設定
	43
	ディスクエッジの設定
	39
	ディスクの油圧設定
	39
	ハローシステムの設定
	43
	リアパッカーの設定
	43
	作業深度の設定
	中空ディスク
	39
	作業深度の調節
	位置
	19
	作業速度
	30
フ	使
フロントバラスト	使用
計算	56
	使用目的
	18
メ	冬
メンテナンス	60
	冬季保管
	65
リ	前
リアパッカー	前輪軸荷重
位置	19
設定する	43, 44, 45, 45, 46, 46, 47, 47, 48, 49, 49
リアパッカー用設定レバー	
説明	27
リアライト	26
リフトアーム用のバックストッププロファイル	
取り付け	35
ロ	寸
ローラー	寸法
スクレーパーを調整	29
点検する	63
上	工
上側リンクピン	工場での作業
点検する	3
下	後
下側リンクピン	後部ハロー
点検する	63
	リアパッカーの設定を参照
	43

後輪軸荷重 計算	32	積	
技		積載	66
		機械をラッシング	67
技術データ		総	
ディスク	29		
寸法	29	総重量	
走行可能な斜面勾配	31	計算	32
走行速度	30	荷	
騒音発生データ	30		
枕		荷降ろし	66
枕地	56	設	
格		設定レバー	
		位置	19
格納	65	調	
機		調整スピンドル	
機械の銘板		位置	19
位置	19	警	
水		警告マーク	21
水準器		位置	21
位置	19	構成	22
油		説明	22
油圧ホースライン		負	
点検する	64	負荷	
連結	35	計算	32
連結解除	58	輸	
油圧系統			
連結	35	輸送速度	30
清		輸送用安全バー	
		取り外す	51
清掃		取り付け	52
機械	64	追	
照		追加バラスト	
		位置	19
照明と識別		取り付け	50
位置	19	連	
後	26		
特		連絡先	
		技術編集部	4
特別装備	20		

銘

銘板	
説明	26

電

電圧供給	
連結	37
連結解除	58



AMAZONE

AMAZONEN-WERKE

H. DREYER SE & Co. KG

Postfach 51

49202 Hasbergen-Gaste

Germany

+49 (0) 5405 501-0

amazone@amazone.de

www.amazone.de